

東京小間物新聞



本紙廣告料の直上と増刷の豫告

近來諸物價の非常に騰貴するに件、洋紙の騰貴も亦一層甚敷遂に我商報にまで其影響を及ぼすに至り、勿論我商報は營利的の事業には非ずと雖も、何分從來の儘にては此上の擴張を計るに由なく擴張を計らざれば又斯業機關の本旨に悖るを奈何せん是に於てか止を得ず來三十二年一月五日發行第八十一號より左記の通り廣告料を改正直上せし之と同時に又紙數にも數千の増刷を爲し可成丈全國各地の同業者に對し遺漏なく發送する事に決定せり依て此段豫め謹告す

改正廣告料

五號活字二十二... 一回 金拾參錢
 字體一行三回迄... 一回 金拾貳錢
 同 四回以上... 同 金拾貳錢
 同 七回以上... 同 金拾壹錢

新年廣告申込期限

來三十二年一月五日發行の商報第八十號は通常の頁數を二倍半即ち四十二ページに之に新有益の大附録を添へ尙本號に限り數十萬部を増刷して全國一般の同業者へ配布致候儀に付隨て廣告も大幅變

の豫定に有之因て同紙上へ掲載可致御年賀其他總ての廣告御依頼の向は
 本月十五日迄
 前金相添へ豫め當發行所へ御申込有之度候

發行所

東京市日本橋區藥師町四十五番地
 東京小間物商報

電話交換規則改正

（十二月一日施行）

第一章 總則
 第一條 此規則は於て電話交換局ト稱スルハ電話交換支局ヲ包含ス
 第二條 電話加入區域ハ普通加入區域及特別加入區域ノ二種トシ各電話交換局ノ電話加入區域ハ別ニ之ヲ定ム
 第二章 電話加入
 第三條 電話交換ニ加入セムトスル者ハ一加入毎ニ加入申込書(第一號書式)ヲ電話交換局ニ差出ス
 第四條 電話加入ハ二人以上共同シテ之ヲ爲スコトヲ得ス
 第五條 電話交換局ニ於テ加入申込書ヲ受理シタルトキハ電話加入申込原簿ニ登記シ加入順番ヲ申込者ニ通知ス
 第六條 電話開通ノ順序ハ加入申込ノ順番ニ據ル但官廳用ニ供スルモノハ其順番ニ據ラサルコトアル
 第七條 加入申込者電話機ヲ設置スル場所ヲ變更セムトスルトキハ其請求書(第二號書式)ヲ電話交換局ニ差出ス但他人ノ所有ニ係ル家屋ニ設置セムトスルトキハ其請求書(第二號書式)ヲ請求書ニ添付ス

第八條 加入申込者桌上電話機ノ設置ヲ請求セムトスルトキハ其請求書(第四號書式)ヲ電話交換局ニ差出ス
 第九條 加入申込者又ハ加入者同一戸内ニ於テ同一機體ノ回線ニ普通電話機又ハ桌上電話機若ハ電話機増設セムトスルトキハ其請求書(第六號書式)ヲ電話交換局ニ差出ス
 第十條 加入者其申込ヲ取消サントスルトキハ其請求書(第八號書式)ヲ電話交換局ニ差出ス
 第十一條 加入者ノ加入期間ハ電話開通ノ日より起算シ滿二年トス但第二十四條ニ據テ第一期ノ中途ニ於テ開通シタルトキハ該期末日マテノ日數ヲ附加ス
 第十二條 加入者其加入ヲ取消サントスルトキハ當該加入期ノ末日ヨリ少クとも十五日以前ニ其請求書(第九號書式)ヲ電話交換局ニ差出ス
 第十三條 加入者其使用ニ供スル電話機及其附屬物品ヲ他ニ移轉セムトスルトキハ其請求書(第三號書式)ヲ電話交換局ニ差出ス但他人ノ所有ニ係ル家屋ニ移轉セムトスルトキハ其請求書(第二號書式)ヲ請求書ニ添付ス
 第十四條 前田會頭ノ移轉 來る三十二年一月第五回全國實業各團體大會を開くに付前田會頭より今同各實業者に送附の概文は左の如し
 第一 歐米視察ノ理由
 ▲歐米視察ノ必要 正名 歐米視察ノ必要ニ因テ偶然ノ必要ニ出デタルニ非ス、數年前實業各團體ヲ組織セルノ際、其目的ヲ遂行スルノ方法トシテ既ニ豫期シタル所ナリシ、語ヲ換ヘテ之ヲ言ヘバ歐米視察ノ團體組織ノ必要トシラ必ス決行スルノ目的ノ一ニ數ヘタルモノナリ、
 ▲視察ノ時期 前キニ實業各團體ノ組織成ルヤ正名此組織ヨリシテ農工商各業ニ必要ナル各般ノ組織機關ヲ完備セバ、而カモ之ニ十分心

廣告料 五號活字三十二字第一行三回迄... 同 四回以上六回迄拾壹錢... 同 七回以上拾陸錢... 發行所 東京小間物商報組合事務所

勳力ヲ與ヘ、實業界ノ機關ヲ活動ノ力ヲ具シタ
ルノ所ナリ。歐米視察ノ途ニ上ラズニテ、期シ
業已ニ其方法及順序ヲ心算シ、其期限ヲ豫定
セリ。

▲視察ヲ急ナラシメタル所以 當今北米合
衆國ニ於テ關稅增加セキ企畫アルヲ聞ケ
リ、事未ダ公然タル發表ニ非ラズト雖、同國
政治界ノ狀勢ト、一般ノ風情トニ鑑ミテ、必然
此事アルベキヲ知ルニヨリ、直ニ議院當路
者ニ獻テ、之ニ應ズベキ畫策ヲ進メ、心大ニ安
ンズル所アリ、乃チ各地ノ先約ヲ履ミ内地巡回
ノ途ニ上リタリ、然ルニ何ゾ國ヲ超ヘテ五月
ニ至レバ、米國ノ形勢依然トシテ、革ヲマラザル
ミナラス、事體頗ル切迫ノ聞ヘアリ、懸旅客意
ノ下、正名 決然意ヲ定メ在朝在野ノ知己ヲ初メ
各團體員勿論、家族姻戚ニダモ事ヲ告ケルノ
暇ナク、行李勿々直ニ渡米ノ船ニ投リタリ、危
機一髮、此間ノ消息深ク諸君ノ推想ヲ仰ガザル
ベカラズ。

第二 歐米視察ノ結果

▲我國目下ノ形勢 歐米ノ視察ヲ卒ヘテ 正名 既
ニ歸朝セリ、正名ノ觀察ニテ若シ誤リナカ
シメバ、農商工業ノ外、我國目下ノ形勢ニ關シ
實ニ極端ニ憂スベキモノアリ、之ヲ要約シテ
キニ要約シテ其形勢ニ到若スヘキハ多年唱
ト不肖而カモ今日ノ形勢ニ到若スヘキハ多年唱
道セル所ニシテ、朝野ノ舉ゲテ今ニ至ルモ此
見ナラザル時勢ヲ解スルモノナキハ、正名ノ深
憂慮ニ堪ヘザル所、吁嗟我帝國ノ前途如何
ト欲スルカ。

第三 全國巡回及全國大會

▲全國巡回ノ理由 彼ト思ヒ是ヲ想ヘバ、百感交
々胸ヲ刺シ、歸心轉々矢ノ如シ、此間正名ノ眼ニ
映ズルモノ日本國現時ノ形勢ノミ、何チ以テ
々彼レノ事物ヲ詳查スルノ暇アラザルヤ、當然
チ拂フテ起テ、本月二日神戸ニ上陸シ、タモヨリ
直ニ全國ヲ巡回シ、到處正名ノ所思ヲ披陳シテ
國民ノ同情ヲ求メタリ、是レ他トシテ在朝在野ノ
人ニ對シテ今日ノ形勢ヲ訴ヘテ、容易ナラザル時
ナルヲ覺悟セシメ、發奮一番センコトヲ切望セ
ルガ爲メナリ。

▲第五回大會ノ必要 全國一區ノコト之ヲ卒
ルニハ、今後猶數ヶ月ノ日子ヲ要セザルベカラ
ズ、而カモ諸氏ト協商スベキ必要切迫シ、悠々數
ヶ月ヲ待ツ能ハザルノ案件少カラズ、是レ第五
回全國實業各團體大會ヲ來ル三月三十一日東京
ニ開催スル所以ニシテ、第四回マデノ大會ト比
シ固トヨリ同日ニ語ルベキニ非ズ。

▲出席者ノ感念 正名 多年東西ニ奔馳シテ資產
已ニ竭キ窮困身ニ迫レリ、尚且私債ヲ起シテ歐
米視察ノ業ヲ卒ヘタリ、在官在野ノ間ハズ皆モ
有志者ヲ以テ任ズルノ諸氏、萬障ヲ排シテ實
大奮ニナリトモ發列セラレシメテ、正名ノ諸
氏ニ對シテ於テ毫モ心ニ服ズルナキヲ誓フ、

▲現今ノ形勢團體員ノ覺悟 正名ノ最モ恐ルベキ處ニ
立ツル感アリ、詭傳流説殆ンド正名ノ身邊ヲ圍
繞シ、時ニ或ハ世人ヲ迷ハムルノ虞ナキニ非

正名ノ知ラザルモノ我レ何ゾ關セシ
知レバナリ正名ノ事ハ、一利ナキヲ
アリ、正名ノ事ハ、一利ナキヲ
正名ノ事ハ、一利ナキヲ
正名ノ事ハ、一利ナキヲ

▲國民ノ覺悟 現在日本ハ朝野共ニ腐敗ノ極
度ニ達シ、殆ド濟フ可カラズ、他ノ一
方ヲ顧ミシカ日本國ノ地位ハ日益々危局ニ近
ヅキツ、アリ、此時此際、蠅牛角ニ一
股ニ、些々タル眼前ノ利益ニ惑ヒ、蠅牛角ニ一
股ニ、些々タル眼前ノ利益ニ惑ヒ、蠅牛角ニ一

▲國民ノ爲メニ盡スルノ只團體員ノ
勤勞ヲ極メ、危急ニ瀕ス、此間立
ニ國家ノ爲メニ全力ヲ傾注スベキモノ、只實業
團體員ノ精神ニシテ、其偉大ノ目的トシテ

▲朝野トモニ腐敗セリ 正名 ナシテ忌憚ナク諸
氏ヲ評セシメバ、身實業各團體中ニ在リテ、尙
且其精神ヲ忘レ、其必要ヲ解セザルモノ、十二八
九、是レ大ニ悲シキナリ、諸氏深ク思ヘ、今

▲人ヲ誦シテ人ヲ誦シ、延テ以テ團體員ノ傷
ルモノ少カラズ、腐敗此ニ至リ、心ヲ
用ヒ意ヲ加ヘテ、此清淨無垢ノ團體員ノ汚點ヲ

第五回全國實業各團體大會順序
三十一年一月五日 實業各團體聯合會
六日 全國農事大會
七日 全國實業大會
八日 茶業協會 易協會 交涉會
九日 商工聯合會 聯合會
十日 聯合決議會

▲前キニ大會期日ヲ一月十日ヨリ決定セシモ
重立チタル商工業者ハ多ク銀行會社等總會ニ
該當シ爲メニ出席シ難キ憂アリ廿日午後トス
レバ陰曆正月前後ニ當リ二月一日トスレバ
不便ナリ抑々今年大會ハ極メテ重要ノ協商
ヲ爲メ爲メ重立チタル實業者ハ是非聯合
ヲ求メ度ニ付中央本部商議員會ノ決議ニ依リ

▲各團體共ニ打合ヲ要スルノ件少カラズ故
ニ一般來會者ニ於テモ一月五日迄ニ中
央本部へ出席アラントシテ、

▲有志者トモ急出府縣ヲ送付アラントシテ
各團體員ノ外府縣郡町村ノ各官衙ヘハ團體員
諸氏ヨリ勸誘シテ各吏員ニ出席セラルベキ様
盡力アラントシテ、

▲本年各農區大會ニ於テ決議セル事項中全國大
會へ提案スベキ問題、此書者次第主催府縣ヨ
リ至急中央本部へ送付アラントシテ、

東京芝公園第十四號
實業各團體中央本部
明治三十一年十一月

五一會録事

▲各種部役員總會 十一月廿八日午後一時より日本橋俱樂部に於て五二會各種部役員總會を開き第二回五二會全國品評會開議の件に關し協議の末本部長指名を以て委員二十二名を撰定し方針及詳細なる方法を決定する事に決し散會す但し當小間物部の出席員は左の如し

三輪善兵衛君 平尾 贊 平君
淺井 碩 成君 稻生 二 平君
(順序不同)

▲委員會 本月一日午後一時より五二會東京本部に於て五二會全國品評會の件に付委員會を開き左の通り決したり

一 來三十二年東京に於て開催の等なりし五二會全國品評會之を兵庫縣五二會に譲り東京五二會は更に明後三十二年三月一日を以て開催する事とし今より直に委員十名を撰定して大規模の設計を調査し内閣勸業博覽會に比すべき規模にて開催する事

一 右の決議により本部長は左の十氏を指名して第三回五二會全國品評會設計調査委員を囑託したり

- 第三回五二會全國品評會設計調査委員
- 兩宮 峻 太郎君 三輪 善兵衛君
 - 谷口 庄 藏君 林 治 祐君
 - 高松 伊 助君 加藤 助三郎君
 - 三 輪 要君 村田 源 助君
 - 中 根 郁君 村田 小 兵衛君
- (以上次第不順)

▲石粉の直上げ 東京製石粉と云へば品質の善良と且つ其割合に價格の低廉なるを以て全國到處に於ても高評を博しつゝあるは世人の夙に知る所なれど如何にせん近來は諸物價の騰貴と共に原料及び職工賃等も大いに騰貴せしより此儘にて強て従來の品位を保たんとすれば或は粗製濫造の弊を招くやも計り難しとて東京石粉製造組合にては今年總會決議の上従來の價格に一律を直上して益々東京製の名を懸する事に決定したる由なり

▲貿易品マイスター 本組合員平尾贊平氏の化粧品製造に熱心なるは今年更々々々を要せざる事な

がら今度又同店にて製造發賣せんとする貿易品マイスターと云へる齒磨は未だ内國にて用ひざる藥品及び芳香劑を以て之を純白色の細粉末に製し而して其裝飾も亦專ら歐風の美麗に倣ひて文字も歐文のみを用ひ他日内地雜居の準備に於て文字悟の由なるが其發賣は多分來一月の中旬頃なるべく酒は出來の上は全國同業者へ見本として一個つゝ運送の等なりと云ふ

▲小松葡萄酒 從來日本製の葡萄酒は随分深山ありて何れも其功用を自負しつゝあれど其實葡萄酒とは只名のみにしてアルコール製なる事以有識者の常に認むる處なるが茲に横濱市本町一丁目小林桂助氏方より發賣する小松ブドウ酒と云へるは在來の品とは雲泥の相違にして彼のアルコール其他の物は一滴も混合せず純良の葡萄酒を以て製したるものなれば薬用として又滋養として最も有功なれば一週毎に衛生局の試験を經其証として衛生試験所検査済の封紙を貼付しあるが猶馬喰町平尾商店にても今度販賣の特約を結びたりと云ふ

▲店員相談會 同會は連月開會の常なるも元是れ店員の事なれば主用の繁忙をさし置いて集會するは本意に非ずと止むを得ず兩三月中絶せしが今や本組合に於ける各事の設計は駁々として其歩を進め殊に今回各組合聯合の組織ある等に就ても自然店員の打合せを必要とする場合に差迫りしより去廿八日の夜例の通り本組合事務所にて開會し先づ眼前に横たはれる緊急の數件を議し猶は本會を擴張する方法等を協議の上散會したり

▲第二回水産博覽會閉場式 際て神戸に於て開會中なりし第二回水産博覽會は去月三十日を以て閉場式を履行したるが總裁杉仁親王殿下代理副總裁山田信造氏同午後四時式場に臨み事務官長代理事務官原清風氏本會の額末を述べ山田氏は總裁殿下の演述文を朗讀し地方長官總代兵庫縣知事大森錦一氏祝辭を述べ同時二十分無事終了を告げたり

打付極上
小町紅猪口類
光色不變



○各店標榜注文御思召有之ハ傳報知次第○價表送致申上候
○何卒御用向希願候
○大勉強○製 東京市日本橋區
○低廉販賣○元 造 本銀町四丁目十七番地
○大石清香堂

ライオン齒磨の特効

本品は化學作用により多年實驗して好成績を得たるに依り一層原料の良質を選擇して精製したるものなれば從來世に行はるる普通齒磨と其質を異にして香氣濃郁として口中の汚物と臭氣を去り齒質を雪白健全な世界無比にして且該品を常らしむると齒齦を治し總て口中一切の病を患ふる無きと疑なし是れ本品の特効なり江湖の諸彦精々修試用の上高評あらんと乞

東京市神田區柳原川岸廿二號地
電話花四九八番
東京特約店 小林富次郎
横濱市常盤町二丁目
横濱特約販賣 支店 中村商店
天野

定價 子前 五十八錢 七入袋 七錢 參入袋 七錢

○賣所 全國到所ノ小間物店ニアリ

特約店 東京小間物卸商組
合各店

花王石鹼

花王石鹼の品質最も優良にして特に皮膚の美觀をまし且衛生上特に特効あるは長くも

宮内省陸海軍
帝國醫科大學
御用を命せらる

其他各病院の實驗證明を與へられ浴く内外需用諸君の高評を博したるを以て推知せられんとを希ふ

●賣所 全國至る處にあり
近來粗製濫造に類似の弊を附し販賣する者有之に付本品の正圖則登錄商標及長瀬富郎名義に御注意の上御求販下度候

東京馬喰町丁目 電話花九二二番
長瀬富郎 製造發賣本舖

●法典實施の期日 新條約實施の期日の中に、最も早きは瑞典、挪威に對する明治三十二年五月三日、露西亞に對する同年六月九日なるが、此等の實施期日に差支なからしむるが爲めには民法、商法とも來年五月一日より實施せられ居らざるべからず若し來年五月一日より諸法典を實施せざるべからざるべからず是迄迄死に改正を急ぎながら處々實施に臨んで延期を求むるなど、ありては日本が列國に對して面目を失ふこと尠からず此邊の理を辨へば衆議院議員の如き政府に反對するを否とを別たす法典案のみは速かに議決して條約實施の上で預算なからしむることを務むるを國民當然の情義なれと思はるれば今の代議士の中には法典の如き大議案を緊急問題として咄嗟の間に議決するは不可なりと論ずるものあり是れ此問題の一端に數へられ議院解散せられて法典の猶ほ未定に了るが如きことならば政府も餘儀なく憲法第九條を準用し緊急勅令を以て法典を發布し且つ法典實施の期日を定むることになり行くべしといふ尤も憲法第九條は「天皇は法律を執行する爲に又は公共の安寧秩序を保持し及び臣民の幸福を増進する爲に必要なる命令を發し又は發せしむ」とあり緊急勅令は主として治安を維持するが爲め發せらるるものゝ如くなるが議院解散の爲め條約の實施を延期するとありては國の威信を關係すると大なるべければ特に右第九條を準用して法典を發布するの覺悟もありとす

●銀行家の救済策 財政を整理して經濟社會の困難を救済するは今日の最大急務なり幣制改革の結果として歐洲諸國に對する爲替相場の変動を少くし外資の輸入に幾多の便利を與へたるは明白の事實なれども今や國內の通貨は非常に膨脹して物價の騰貴殆んど底止する所を知らず加ふるに昨年來の株券下落は中産以上一大恐慌を與へ過般來大阪名古屋等の商業地は其影響を蒙りて銀行會社の破産警報を傳へんとするに至り一時非常の勢を以て勃興したる各種の事業も資金の缺乏に依り殆んど中止の姿なり是れ素より空株横行の反動にして今日の悲境は一部實業家の最初より豫期せし所なれども此儘に放任して救済の策を講ぜざるに於ては經濟社會の前途は益々不振を極め國家の進運を阻害すると少小にあらざるにして政府が當期の議會に提出する明年度の歲計豫算は二億八千餘萬圓の巨額に達し其歳入不足を補充するには地租増徴の方法に頼らんとするは今や公然の秘密となり朝野の間既に之れが可否を論議して止まず増税は財政上の一大問題なり然れども一般經濟社會の不振を救ひ生産的の事業の發達を獎勵するは國力倍發の點に於て一日も忽緒に附すべきこととあらざる有力なる府下の銀行家中昨今種々救済の方法を講究し居る者尠ならずと云ふ

●最近登錄商標摘要

- 品名、紅、白粉、其他顔料 樹形及草草模樣を顯したる縦長方形の縞線狀の欄内上部に兩端屈折せる弧狀の布片及其下に唐草を配置したるもの
- 品名、同上 三段より成る第一段は唐草等の裝飾ある横長方形の欄内に兩端に草花を附したる横長き區別を設けたる第二段より幅廣き同形欄内に王冠を載せたる楕圓形其左右に蛙下方に横長き區別を設けし第三段は角切縦長方形欄内に竹叢中に蛙の合戦の圖及其上部に舞鶴を畫きたるもの
- 品名、水石繪、粉石繪、圓形石繪 地球儀形を擬りたる左の手の圖
- 品名、石繪 平假名にて「あさかほ」と二行に書下したるもの
- 品名、石繪、其他藥劑數種 雲間より半面現れたる月の而上に掛けて左上方に向ひ走れる一頭の兎を畫きたるもの
- 品名、香油、香水、白粉下 一線丸の内に同形の地を收し其面上に羅馬字にて「ケ」を顯したるもの
- 品名、白粉 平假名交り行書にて「つやの花」と書したるもの

東洋美術新珊瑚珠

世ハ明治歲ハ文明其事物ノ進歩セル實ニ枚舉シ難キノ時トシテ彼ノ人造珊瑚珠及赤玉類ノ如キモノ毎々續出スルハ既ニ御得意諸君ノ御承知ノコトアラマスガ昔之レ一視其人造物ナル事ヲ判明シ得ルモノノミテゴザリマス依テ弊店茲ニ刻々苦練スルコト久シクシテ今同實ニ天然珊瑚珠ト同一ナル物ヲ製造セシメテ此新珊瑚珠ハ是迄世ニ發賣セル品トハ其製造法ヲ大ニ異ニシ其澤色重量玉音等目生地ノ如キハ天然珊瑚珠ト毫モ異ナラズキノミナラズ生地本目等ハ一粒毎ニ其作用ナルコトヲ証スルニ除リアリトス之ヲ全國御得意諸君何卒御覽御一覽ノ上陸續御注文アラシヨ

東京日本橋區横山町三丁目 三橋兎喜次郎製

但シ壹個毎箱入りニ美麗ナル箱入り

東洋美術新珊瑚珠

不褪色 保險付

東洋美術新珊瑚珠

根掛玉玉

箱入り

但シ壹個毎箱入りニ美麗ナル箱入り

東洋美術新珊瑚珠

不褪色 保險付

東洋美術新珊瑚珠

根掛玉玉

箱入り

但シ壹個毎箱入りニ美麗ナル箱入り

池野屋煙草店

洋煙 進物 必需

●日本橋區横山町二丁目 煙草賣店

●里谷横山町板新道

卷賣用パイプ 薄荷パイプ材 ライスベーパー 各種製造元 船來パイプ問屋

東京市日本橋區 通鹽町四番地 菅谷爲吉

萬國眼鏡各種

洋和

船來

拙店義從來眼鏡類一式御賣營業能在此處今一回層業務ヲ擴張シ品質價額亦大ニ勉強仕候間多少ニ限ラズ御注文願上候

御出京ノ際ハ御任入御便利ノ爲一見御價定易キ機商品一切ヲ見本陳列場ノ設置有之候間御來店ノ際ハ極意無御覽御度候

東京市日本橋區 横山町三丁目(尾張屋隣) 田中榮次郎

高等散原料凡ヲ騰貴致候爲メ不得止當十一月ヨリ三分方直増相願度此段豫メ謹告仕候



本品は化學作用により多年實驗して好成績を得ざるに依り一層原料の良質を選擇して精製したるものなり... 世界無比にして且該品を常用しむると... 世界無比にして且該品を常用しむると... 世界無比にして且該品を常用しむると...

製造本舖 天野源七

名芳普世に轟

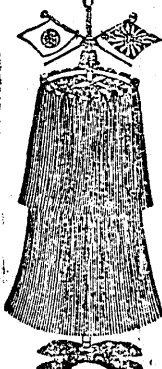


類あき純良品にて高尙優美... 此人造麝香は佛國製造元より特約輸入し他に比り... 東京市日本橋區伊勢町七番地藥劑問屋 星野與兵衛



玉親孫効 良精手物 擊學手筆 擊校提煙入 擊道用靴草太 擊道用靴草太 擊道用靴草太

社會の進歩と共に新形流行品を整製專賣す



改良蠟引紙壽賀本舖 創設二十五年紀念 博覽會有功賞銅牌

改良蠟引紙壽賀本舖 善丸見屋善兵衛

人造麝香 洋風花

製造發賣元 濱田東陽堂 村田藤七



顔の艶を白美にする妙劑 定價大瓶日錢中瓶拾錢小瓶六錢

和洋小間物店又ば藥店 本舖 東京市日本橋區

秋の花妻 (第九回)

秋は見るより心の内に要なき人の来れりと思ふ氣色を色目にも出さず...

と極りしかば卿の父の豊前殿は心の内に面白からず病と唱へて引籠り...

事ア返事して身共の胸襟付かせて結らぬかと半ば開きし扇子の影より...

したら平に御許し下されと早速の頓智に逸刀太も強て争がふ事叶はず...

しませと体よく此場を退はんとすれと逸刀太は冠りを振り...

と双方の親へ頼みな子に強からぬは親の心終には深りも解け合ふて...

前の乞食殿と取替つたら能いものをオホ、オホ、と我袖に包めど...



Table with exchange rates for various countries including England, Germany, France, etc. Columns include country names and numerical values.

● 實業家の國策調査 從來政治上の事々容れずるを以て其本領以外のものなし傍觀の地位に立ちたる實業家中の一派が這回國策調査を試みるに至りたるは政府の財政計畫が過大に失して現今の民度に適せず國力の伸張を妨ぐる所あるを以て民度に適する範圍即ち人民が負擔に耐ふるだけの租税を徴收して政費を爲さしめんとするに基因して臨時費と云ひ經常費と云ふも等しく政費にして人民の負擔に歸し之れが苦痛を感ずるは其名目何たるに關せざるが故に經常臨時の區別を廢して同一の費目の下に置き而して歐米各國の比例を我民力とを比較して先づ大體の政費の範圍を定め其定額内の金員を以て軍事費其他の用に供せしむりて成る可く經費の削減を行はしめんとするに非らず必らずしも軍備の擴張を廢せんとするに非らず只費額を節して擴張し得るの方法を探らんとを望めるにて其例を云へば瑞西國は歐洲中に於て人民の割合に比して多數の陸軍を有せども一人の常備軍を置かず其上官に至りては佐官以下を以て之れに充つる方法を取り英國は陸軍は自由兵の制なれども其實は備兵にして經費は割合に小額なり又英國は三ヶ年の兵役期限を二年に縮めて兵數を増加するも經費は増加せざる方法を採り、如斯國によりて其方法を異にするれば之を差配すれば軍事費と雖も削減し得ざるの理ならん然れども空論以て政費の削減を唱ふるも實際に行はれ難きのは實業家の云ふを駁する所なるを以て之れが調査を爲し其成案を具して政府に建議する所あらんとするに在り云ふ

斯る困難なり運動なり要するに、物業銀行の性質を誤解せるより出でたるものと云はざるを得ず本行は營業に着手してより猶ほ數ヶ月を経ざる程なれば貸付を爲すに當て注意を加へ萬一の逆算なきを期し居れども尙くも前途有望の事業と認むる以上は資力の許す限り貸出して其改良發達を助くる方針にして其間に農業と工業とを區別するが如き不公平の處置なきのみならず現に今日までの成績に就て見るに工業に貸出したるは件數こそ少なけれ金額は總貸付額の過半を占むる次第なり左れば本行が工業を輕視するに云ふが如き無根の說に過ぎざらんが爲めに他の有益なる貸付に供し可き資力を殺ぐが如きは斷じて爲す能はざる所に於て斯る處置に出でんには物業銀行は投機の渦中に陥らざるを得ざる可し殊に紡績業の如き其原料に加工すれば直に商品として市場に販賣するを得るものが一時資金の欠乏を告ぐるに非ずは特に物業銀行に依頼するに及ばず普通の商業銀行に就て平生の信用を以て融通を謀ることを適當の道と云ふべけれ物業資金の如き随分一時の急を救ふが爲めに與へられたるなどの例もあらんれども本行は全く之と異なり其期する所は工業永遠の改良の爲めに資金を供するに在りて其働は病體に藥を投ずるに非ずして寧ろ健康體に滋養物を與ふるに在り先百尼ヶ崎紡績會社其他二三の紡績業者に貸付を爲したることあれども是等は其株式拂込高より云ふも株式の時價より云ふも又積立金額より云ふも工業會社中上等の位置に在りて其基礎既に固く今後いよいよ發達の見込あればこそ貸付けたるなれば決して昨今の不振を救はんが爲めに非ず且つ本行の貸付は常に抵當品の確實なるを要するのみならず年賦償還期限内に事業の利益より充分償還し得る確實の計算ありて始めて貸付の要求に應ずるものにして此點に就ては特に世間の注意を仰がんと欲するなり昨今經濟社會に金融逼迫と云ひ資金の欠乏と云ひ種々不景氣の徴候現はれたるよ

代特 代理店約 東京日本橋區横山町一丁目 同馬喰町一丁目 同馬喰町四丁目 同通靈町 山田 萬三 平野 源七 凡見 善兵衛 同馬喰町三丁目 同神田區治町 其他全國至る所の小間物店及藥店に販賣

化粧品小間物齒磨問屋 白光散本店 三橋喜次郎製

大日本帝國農商省商標註冊

本品は化學作用により多年實驗して好成績を得たるに依り一層原料の品質を擇んで精製したるものなれば從來世に行はる普通齒磨と其質を異にして香氣濃郁として口中の汚物と臭氣を去り齒質を雪白健全なる世界無比を思ふる無きと疑なし是れ本品の特効なり江蘇の諸君御試用の上御高評あらんとを乞

東京日本橋區横山町三丁目一番地

大日本帝國農商省商標註冊

本品は化學作用により多年實驗して好成績を得たるに依り一層原料の品質を擇んで精製したるものなれば從來世に行はる普通齒磨と其質を異にして香氣濃郁として口中の汚物と臭氣を去り齒質を雪白健全なる世界無比を思ふる無きと疑なし是れ本品の特効なり江蘇の諸君御試用の上御高評あらんとを乞

東京日本橋區横山町三丁目一番地

大改良新製の形

今様東京流行とうまん入まけ形製造廣告

別製燈真入 自慢形 音羽形 じまん入 新東京形 とうまん入 福助形 麝香形 柳橋形 花王形 新橋形 一乃字形

右之外御注文に應じ何形にても製造仕候に付何卒御注文を乞ふも當工場年中各地方より御注文立込居候御品切の前には可成御下度御注意

東京日本橋區横山町三丁目壹番地 三橋商店まけ形製造部

小間物問屋 本舖 三橋喜次郎 別製白粉

り或は之を以て戦後經營の結果なりと唱ふ者あれ共一方より考ふるに實際戦後經營の爲めに新に起せる租税の大半は徴収以來未だ一年を経過せず今後盛に増税の舉がれば兎も角も今日までの處にては戦後増税の爲めに不景氣を招きたるものと見る能はず今日こそ日本銀行が戦後膨脹的方針を稱して金利を引下げ大に貸付を盛にしたる其餘波として露地方に勃興したる種々の泡沫會社が次第に近づきたるものにして勸業銀行をして斯る泡沫會社の始末を全うせしめんと云ふが如き到底行はれ難き要求と云はざる可らず且つ勸業債券の如き本行の營業が次第に歩を進めたる後始めて發行す可きものにして今日未だ其時非ざる可しと云々

●通貨の多寡に就て(鶴原定吉氏の談話) 戦後に於ける物價騰貴の原因を單に通貨膨脹に歸するものあり又近來世間に喧しき保證準備擴張説に就ても通貨を益々増加するものなりとて反對するものあれども此等の論者は何れも其枝葉のみに亘りて根本より立脚するものなきを以て取るに足るべし説あるを見ず抑も戦後の通貨は果して膨脹せしや現今の保證準備制限は果して少な過ぎるや否やを知らんとせば先づ我が通貨は何程を以て適當とすべきやを究りざるべからざるなり然らば

通貨の適當額如何と云ふに試みに戦争以前に於て經濟界最も平穩の年なりし明治二十六年の十二月三十一日の通貨を見るに兌換券、政府紙幣及び銀行紙幣の總額一億七千餘萬圓なりしなり然るに其年の八月頃よりして輸入漸く超過したるを見れば其以前は年々輸出超過し來りたる爲め當時の通貨は稍々多きに失したるものと謂ふべし左れば其前後に於ける輸入超過の情況等に徴して當時の通貨は一千万圓内外に多きに失したりと見ても大差なれるべし即ち一億六千六百萬圓は二十六年に適當せる額なりしなり然らば現今の流通額は如何と云ふに我が經濟界の進歩貿易の増進によつて年々通貨の増加する額を見るに一箇年平均四五

百萬圓の間にあるを以て其低位なる四百萬圓を年々増加すべき額とすれば二十七年より今年迄の四年間に千六百萬圓の増加は當然なりとす左れば二十六年の適當額一億六千六百萬圓に之を加へ且つ新領地臺灣に要するものを三百萬圓とすれば總計一億八千萬圓は即ち三十年に適當なる額なりと斷定するを得べきなり

●通貨と物價 前記の如く本年の通貨適當額は一億八千萬圓なりとすれば本年十月末日の通貨二億五百餘萬圓の内二千五百萬圓即ち一割四分弱は過多なりとす然るに物價は如何と云ふに二十一年一月を百位とすれば二十六年十二月には百二十三に騰貴し今年十月には百七十三となり即ち今年十月は二十六年十二月に比し四割餘の騰貴なり通貨の過多なるは一割四分に達せざるに物價の騰貴は四割以上なりとすれば二割六分餘の騰貴の原因は之を他に求めざるべからず

●尙ほ試みに昨年と今年の通貨を比較するに昨年末は巨額の政府當座預金ありしを以て日本銀行は事實上四千餘萬圓の制限外發行をなしたるに同じかりしものにして今年も年末には四千餘萬圓内外には及ぶべく通貨總額を比較するも昨年と大差あることなし之を以て見れば年々増加すべし四百萬圓は今年増加し居らざるものにして是れ日本銀行が本年六月以來三度に四厘の利上げをなしたる効力に歸するも差支へなかるべし且つ今年の通貨は昨年より比較的減額せるに拘らず物價は益々騰貴せるを見れば悉く以て其騰貴の原因の他にあるを證するに足るべし

●保證準備制限如何 前記の如く一億八千萬圓は本年の通貨適當額なりとすれば保證準備の制限は何程を以て適當とすべきやと云ふに之を定めんには先づ正貨準備より定めざる可らず正貨準備は通貨總額の三分の一を下りざれば兌換の基礎は鞏固なりとは殆ど歐洲の經濟界に於ける通説にして實際三分の一を最低として差支へなかるべきを以て一億八千萬圓の三分の一即ち六千萬圓とすれば

保證準備は之を一億圓とし殘額二千萬圓の餘裕を置くべく正貨の減縮を防ぎ兩者の増減を滑らかにししむるは最も適當の度合と謂ふべし保證準備擴張の説は今日に起りたるにあらざる數年前よりして當局者間に其説ありしものに因り今日の經濟政策として云ふにあらざる唯學説として之を一億圓に増額するも差支へなきを主張するのみ云々



●新聞紙の徑操 早川 啓

新聞紙は社會の耳目なり即ち社會の表に立て事是非するものなり世道を開發するの一大利器なり故に苟も其の載する所の記事評論は細大正確證明ならざるべからず若し夫れ或は針小棒大浮事を報し醜聞を傳へて漫りに附庸治郎の歡心を求むるに務め或は事實を枉げて野卑惡毒の文字を排列し危謔譏刺の句調を以て愚良至誠の人士を罵評して徒らに浮塵僞才子の意を迎へんとするものあらん手實に社會の一大恨事にして風紀爲めに傷れ秩序爲めに紊れ茶毒之れより甚しきはなし近時往々此種の者流を成る一部の新聞紙に見るは頗る痛嘆に堪へざる所なり頃者某々二三の新聞紙は前田正名君を評して或は曰ふ氏は政府内其々等の旨を受けりて政府の爲めに云々するものなり或は何れは何れに其の記事一も事實に値するものなく蓋し何人か爲りにする所あり流言するものもなく若し誰か街談に上りしに過ぎざる其極論評に窮して遂に五二會團體の結合を連内教會天理教會等に比するに至ては余輩啞然として其の文旨無稽の妄解たるを憐まざるを得ず斯る言實なき虛誕妄評に對し取議言明するは頗る大人氣なきに至りて而かも前田君の本意にあらざるを信す前田君は常に曰ふ余の一事を成さんとすや毎に人を目的とせず事物其物を相手に成功を期す故に必ずしも人と争はずして物と争ふと余輩深く此言に服す然り前田君が廿餘年來

苦心營々私財を投して東西に奔り一意國家の重きを負ふて終始一申事に踏ひ物に商つて倦じることなく只管實業の進歩を務め人の毀譽褒貶に泥すず百折不撓萬難を排して能く今日に至れるもの氏が言行の一致を証するに足る而して其間直接間接に實業社會に收めたる効果如何は識者の既に知るあり取て嗚々の辨を要せざるなり而かも猶ほ且つ氏が豫期する目的の何が一だも達するに至らずと彼の小人野夫の言を以て島村みづ等に擬するが如き其他些末の妄評素より齒牙に懸くるに足らずと雖も前田君が政府の爲めに五二會を引ひて御味方議員を出し云々の記事に就ては余輩一言を費して實業家の爲め其誠を解かん夫れ一國の富源は何れにあるか物産の興振貿易の擴張一々之に存す而して其進歩の致す所以の必すしも秩序的の法律の保護制裁に依らざるべからず然るに我邦各般の制度文物進歩せる度合に比し特り商工業に對する制度法律の適切完全を欠ける事余輩の常に遺憾とする所なり是れ畢竟政治家として職に其局に當るもの實業の如何を解せざるに坐するのみ諸君若し大は帝國議會より小は郡市會に至るまで各種議政に參與する議員の多くは法律家にあらざれば文學者を以て充たされ其の實業家と稱せらるもののは實て商工業の實験を夢にだも知らざるもの一朝僥倖の機運に會して某々の請負をなし一舉千金の富を得得たる所謂山師的投機者流たるのみ三百の代議士中老練者實の經驗家として値すべき實業者は殆んど五指を屈するに過ぎず商工業に對する保證獎勵の制度法律完備せざるもの又怪むに足らざるなり是を以て實業者は先覺者の指導に依つて一致結合團體を組成し各團體員中適當の人士を推して議會に參せしめ實業社會の意志を發表して完全なる機關の設備制度法案の成立を遂行せんと務むるもの自然の趨勢にして三尺の童子も猶ほ能く之を知る而かも國家に盡す所以の責任は是等の見事な事理を看破するの明なく輒も是れハ則ち事實を誤り枉げて無根の謬傳を流布するは速了輕信も亦甚しと謂ふべし苟も社會の操縦者をして任する新聞紙たるもの宜しく實業を重んじ記事の正鵠を期し論評を正して局量審思從らに能く中傷するが如きの惡徑を誦むべきとを切望して止むるなり

會覽博業勸國內回四第

領受牌賞功有

香油

精煉
めい油



最良
香油
八千代

弊店製香油并
煉油之廣く世
上の好評を得
品質の精良香
氣の可愛販額
の夥しき既に
諸君の御信認
を辱する處也
益々勉強御愛
顧の厚きに酬
ひ奉らんとす
而御用の程奉
察候

東京市日本橋區
田所町十番地
井筒屋香油店

新形
各種
筒前金物
緒綿小道具
問屋(善)
丸見屋
長倉為次郎

本舖
特約大販賣店

東京日本橋區
山町二丁目

(電話浪花
四十二番)

東京小間物卸商組合中
脇田盛眞堂

煉
お
し
いろ
元祖

大瓶 八錢
小瓶 四錢

定價

小瓶 四錢
中瓶 六錢
大瓶 八錢

定價

共口瓶入
新大 十三錢
極大 廿錢
別大 卅五錢



化粧品の各種石鹸問屋
山田篤三謹製
東京市日本橋區通町五番地



莫大小製造卸問屋 鈴木卯兵衛



莫大小製造卸稟告
小間物屋さん仲間へは特別に働いて賣升

小間物問屋村田藤七
かじ元毛賣買仕候

今般弊店ニ於テ印付も勉強致ス
有之候故直ニ御座申上リ候所全
ヨリ勉強ノ物ト御座申上リ候所全
爲今迄ハ御注文ニ不慮ニ付下
先キ多分ノ御注文見込無之候
今同製造場ヲ數軒設ケ其ト職工
候ニ付何程ノ大注文モ支無之候
所モ今一應モ二應モ勉強致シ候
御見本ナリ共御注文ノ程區ニ奉
東京日本橋區通町



八花線八十八枚綴紙

親玉
牡丹
佐木玄兵衛
定價
一貝
二錢
特製
五錢

明証驗實醫大各門專膚皮

海軍御用品

内務省衛生試験所
御試験済ノ成績書アリ



錢五拾參入個三錢貳拾個壹 價定

百猫石鹼

現今化粧石鹼として販賣するもの其種類頗る多しと雖も恐らく此百猫石鹼に優るものは無かるべし見よ諸君此百猫石鹼が如何に純良善美なるかを見よ抑も此石鹼たる某博士及斯道専門の學士等に就て秘法を受け之に弊店の經驗上の發明品を配合し且つ熟練の職工をして之を製せしめたるが故に其衛生的化粧品として有功無比なるは即ち諸名醫諸大家の証言に據て明瞭なり莫くは全國同業者諸君彼の粗製濫造の瞞着品と同一視せず揮て販路の御擴張を賜らん事を猶需用者の對するの說明へ載せて本能書に詳なり

本舖 大野金城堂
東京市日本橋區馬喰町

帝國人學模範藥局藥劑士
帝國齒科專門醫
高野瀧病院長醫學士
從四位子爵
醫學士
此ノ他諸大家証明及ヒ賞狀アルモ略ス

内務省衛生試験所御試験済
海軍御用品 海外輸出品

めいぼし齒磨

山々さし齒磨の品質頗る佳良なり故に齒牙をして健全且光澤を發せしめ口中自ら清潔にして諸患を除去し又他の惡氣を拂ふに特效あるは既に諸名醫諸大家 証言に據て明瞭なり是を以て今や海外に迄其名を馳せし日に月を是が輸出の増額を見るは弊舖の最も名譽とする所請も世の需用も諸君若し命は食に在り食は齒に在る事を知らば常此めいぼし齒磨を使用して以て天授の幸福を全ふし給へ



製造發賣本舖 東京日本橋區馬喰町一丁目 金城堂
海外代理店 北米合衆國 桑港スレーキン街 アムステルダム
和蘭國 アムステルダム
大野金城五郎 高濱商店 會

明証驗實醫大各



印子新

二王后鹼

製造元

東京牛込 揚場町 安永舍

一二王石鹼には多量のリスリンを配合しあるが故に寒さの時節には一二王石鹼を使用するに限る

CORAR DEALEL.

皇國 珀來 珊瑚珠

珊瑚樹 枝置物數種 其他珊瑚一切
珊瑚 美術彫刻品 侈需ニ應ズ

今般業務擴張致爾後多少ニ拘ラズ廉直販賣仕候間御愛顧御引立ノ程奉願上候

珊瑚珠樹問屋余 大坂南區大寶寺町 小栗勘兵衛本店
東京馬喰町三丁目 小栗勘兵衛支店

近頃弊方本店又ハ支店員ナリト偽リ地方行商スル者有之由留及申候附テハ此後能出候時ハ早速御通報願度者シ本支店ヨリ差遣ハ候節ハ前以テ御案内御積書差上置候御承知ノ店印持參爲致可申候間是又併而申上置候

意匠 漸新

玉手箱后鹼

此玉手箱石鹼は繁華發賣の男女白色劑ヲ以テ精煉なしたる品なれば有効無害なるは勿論殊に五十打に對する美術金製製二百個一個鍍金を以て打石に打込有之に神祕の力を得るを疑はざる石鹼にして品質價格共に完備なる古今未有の品なれば御愛顧あらんとす

發賣店 東京小間物卸商組合中 田中花王堂



又古まゝ

維新の樂書(承前)

淡雪彌生の千代代々

やれ〜。花のお江戸の霞が關する。その交際の隈田御門外。三月節句に花見と雪見の新板ちよばくれ。世上皆さんかきなましよ。小人集まり國家を治めりや。災害ならびに至るといふこと。孔子のおしへにあるではないか。彦根のあるとが大老職をば動けたこの方。提は守らず家中はまらさず。市中はたまらず成はさうだ。抑も彦根のいれを申さば。三百石餘の厄介もにて。時々京都で女郎もかつたり。子供があるも彦根手がまらぬ。やりくり算段高利もかりたり。買はち置いたり。夫にて殺しを付けたる人も。中々大事の御政事とば知れない道理。娘の姉長濱坊主の法談聞いたり。他方の本願もらうを専一。安心決定さまつた積り。一塵天狗の高慢のゆゑ。井伊家の家督に直ると尚さら。物知り顔にて溜り前衆の大名の中に。先生氣取でなさい者ゆゑ。誰が譽めたか先年流行のころの病氣で。親玉死ぬと大老職とは成つたが。かかし。成るのもよから天下の政事によこしまに。旗本御家人依怙魚負のよに。諸家の家中に悪せぬよに。百姓町人をしりのないよに。先祖のお役を勤めたよに守ればよけれど。さらいな人をば残らすはりなげ。如何なる阿房のよんじり者でも。加増をさせたり任官させたり。親玉死ぬ時時どつたり。蘭家の御師も上へ召出し。藥の功徳よくもないのに。眞醫師など。は似合の事だ。神君様でも代々様でも。並生同様な異人の弟子なる擧をさしわけ。さいたるためしは是でないぞ。蘭家の醫師も近頃こそつて異人を尊び。伊役人をば御匠に頼んで。こわからせるゆゑだ。〜。異國の畜生御匠に

願んで。大名旗本西洋流儀の軍學訓練。見附の備の鐵砲。西洋術にてかざるなど。は片腹痛くて。日本開關御當家様まで御袍なれば異國に負けたるためしは無いぞ。御存じなければ致へて遣ふとわつしやるお本意。お邪魔になるゆゑ取上なければ。さすがの隠居がくやしきまされに。京都(登りて)堂上讓じて給言をもらうて。忠義を盡して勇氣をよるつて。異人をころして交易停止で五穀をよやして。諸人を助けて國家をかまされて。世柄をよくして安樂させんと。計略立つれば彦根の大老びつくり仰天。それでは是から儲けが出来ない。もふけがなければ屋敷が廻らぬ。廻りが悪けりや妾と酒盛十分出来ぬ。昨年焼たる伊國の形城の普請も出来ない。大事な場所だ。間部を談じて上京いたさせ。ひんろ者など名付てめし取り。副將軍をばお國へ押こめ。家來は切腹獄門死罪になつたが迷惑。伊役人もさらいな人をばばんどはり投げ。阿さんなどは親玉病氣に。粉骨つして療治をすれども。蘭家の御師も。御言用ひて閉門せたり。堂上がたをばひやみに押こめ。言語問斷されたものだよ。禁裏へ對して勿体ない事。神君様から息子の御家の大事な人を出したたり入れたたり。一文もちやの人形同様。佛の顔でも三度なれば腹を立ると云ふで。〜。其上第一これまで許さぬ畜生同然。異人のやつばら。城へ入れれば。眼前けがれて焼けたぢやないら。異人へ對して返答できない腰ぬけものゆゑ。異人のやつばら退々増長。下田の時分は一分の通用ドロ銀なんども三分に直上。日本の實の金類交易。是ではだんく。此世の實がなくなるばかりで。佐渡の金山日光の伊先祖。京都の神祇位いて居るも。春中のかた永降するの涙の雨だぞ。三月節句はめかけの産たる娘の誕生。祝ひの酒盛十分したさに。上巳の登城も早々しもて飛んだり列たり。妾と存分のさよとしたれば。天の罰する時こそ到来。昨年のかた大雪降たるためしは無いのに。此日に限つて隣も見へない大雪

●特選口平質保險は無限責任也
●東京通油町 陸軍御用達清水開花堂
●買捌所は全國到所の小間物店にあり

とつげつせ
月夜
陸軍御用品
定價一個十金五錢



全世玉蘭
玉蘭
皮膚科
諸君御用
製造本舖
東京市
支店
西久保
二生
平二生
金



世界無二藥齒磨玉蘭
衛生
POMDER
WATER
TOOTH
PASTE
玉蘭
磨
目丁貳町網小區橋本日京東
製謹 郎三吉屋勢伊



拙店儀今回
御得意様諸
彦ノ御進メ
ニヨリ肩書
ノ所工移轉
業務擴張勉
強仕候間舊
二倍シ御愛
顧之程奉懇
願候
日本橋區兩國米澤
町二丁目八番地
村田 宗清
舊 大傳馬町

餘韻俳句開卷披露

雪中庵雀志宗匠撰

見渡して身の思はる枯野哉
雪の門庭たかど叫く人もなし
世を思ふ事は清して冬籠

夜神樂や神代のむかし思はる
親思ふ心に軽しゆきの雲
ちの母の命なかくれ古よみ

直上廣告

諸石鹼 志割上ヶ

全國愛顧諸君に謹告す、諸君も豫て御熟知の如く近
時諸物價の騰々として昇騰するに伴ひ我製造の石鹼
原料及び職工賃等も亦非常に騰貴するの氣運に際し

東京石鹼製造業組合
事務所

賣販大約特

●今回新製仕候貿易品は香氣も一層純良且裝飾は專ら歐風を用候に付普通品同様に澤山御注文相願候

廣島市 田村利兵衛
同 田中善作
同 西谷兵衛
同 大谷兵衛
同 中谷兵衛
同 大内兵衛
同 奥平兵衛
同 岡田兵衛
同 永田兵衛
同 玉井兵衛
同 松井兵衛
同 龜澤兵衛

同 函館 加藤文五郎
同 函館 新田清次
同 函館 木下清次
同 函館 藤代清次
同 函館 南代清次
同 函館 長谷川榮七
同 函館 壽小川榮七
同 函館 向原小川榮七
同 函館 井嘉兵衛
同 函館 野野商
同 函館 藤野商
同 函館 中野商
同 函館 杉江兵衛

同 函館 新田清次
同 函館 木下清次
同 函館 藤代清次
同 函館 南代清次
同 函館 長谷川榮七
同 函館 壽小川榮七
同 函館 向原小川榮七
同 函館 井嘉兵衛
同 函館 野野商
同 函館 藤野商
同 函館 中野商
同 函館 杉江兵衛

貿易品

●煉製 煉齒磨は 定價 大形硝子入金廿五錢 中形同 金十五錢 小形同 金八錢 ●割引の粉製と同様 貴功ダイヤモンド 一個五錢拾錢 壹打入一箱 一個三錢拾錢 壹打入一箱

牌銅功有會覽博念紀設創

受拜賞褒會覽博業勸國內國全
領受狀褒等一會評品會二五國全

TRADE THE DIAMOND MARK
AN EXCELLENT TOOTH POWDER

標商錄登

貴功 齒磨

目丁志町喰馬市京東
製謹氏尾平

額多最高賣販廉低格價良純質品

●品質純良芳香馥郁ナルハ此乙女肌也 ●

●全國一手發賣元 ●

●全國一手發賣元 ●

田中花王堂

化粧品細問屋

東京日本橋區橫山町二丁目

全國無限の和洋小間物店賣薬店にあり

價格低廉賣方最多數ナルハ乙女肌也

三萬個

乙女肌

東京芝居清水藥館

田中花王堂

●品質純良芳香馥郁ナルハ此乙女肌也 ●

●全國一手發賣元 ●

●全國一手發賣元 ●

田中花王堂

化粧品細問屋

東京日本橋區橫山町二丁目

全國無限の和洋小間物店賣薬店にあり

價格低廉賣方最多數ナルハ乙女肌也

三萬個

乙女肌

東京芝居清水藥館

田中花王堂

中村福助謹製

真正 福助新製 毒消梅

新脚好 みうら 梅白粉 特種の 効能

全國一手發賣元 東京 横山町 二丁目 三番地 田中花王堂

鉛毒の害

普通白粉は毒白鉛を主料として調製するものなれば之を少量に用むれば其の毒に罹るもの其例實に甚しきとす殊に俳優藝妓娼妓等皆此の強鉛毒に襲はれ爲に手足ひれ或は身軀不具となり終に死に至りたるもの往々有之故に世の衛生を重んぜらるゝ令嬢貴族方天性の美艶光澤を保んと欲せば先ず此無毒衛生白粉眞梅を御用むあらんとす

御賣

東京小間物卸商組合中

特大	小	特大	小
別瓶	別瓶	別瓶	別瓶
製瓶	製瓶	製瓶	製瓶
川十八	川二十	川十八	川二十
五五	五五	五五	五五
錢錢錢	錢錢錢	錢錢錢	錢錢錢

毎月五日十五日廿五日三回發行部金五錢五回 一編出賣發行入 西 武

東京新聞



本紙廣告料の直 上と増刷の豫告

近來諸物價の非常に騰貴するに伴ひ洋紙の騰貴も亦一層甚敷遂に我商報にまで其影響を及すに至れり勿論我商報は營利的の事業には非ずと雖も何分從來の儘にては此上の擴張を計るに由なく擴張を計らざれば又斯業機關の本旨に悖るを奈何せん是に於てか止を得ず來三十一一年一月五日發行第八十一號より左記の通り廣告料を改正直上げし之と同時に又紙數にも數千の増刷を爲し可成丈全國各地の同業者に對し遺漏なく發送する事に決定せり依て此段豫め謹告す

改正廣告料

- 五號活字二十二... 一回 金拾參錢
- 字體一行三回迄... 一回 金拾貳錢
- 同 四回以上... 同 金拾壹錢
- 同 七回以上... 同 金拾壹錢

新年大附録の豫告

來三十二年一月五日發行の當商報第八十一號は通常の頁數を二倍半即ち四十ページとし猶商家の寶典とも稱すべき頗る有益の

美麗大附録

を添へ全國同業諸氏及愛顧諸君

進呈すべし此段豫め謹告す

東京小間物商報

發行所

電話交換規則改正 (承前)

- 第十四條 加入者自己ノ加入ヲ他人ニ讓渡サルトキハ當事者ノ連署ヲタル請求書(第十號書式)ヲ電話交換局ニ差出スヘシ
- 加入者死亡又ハ失踪ノ場合ニ於テ其加入ヲ繼承セムトスル者ハ其相続又ハ管理人タル證明書ヲ添ヘ其請求書(第十一號書式)ヲ電話交換局ニ差出スヘシ
- 第十五條 第六條但書ニ據リ開通シタル電話加入ハ之ヲ讓渡スルコトヲ得ス
- 第十六條 電話加入ノ讓受人又ハ繼承人ハ其加入ニ屬スル權利義務ヲ繼承ス
- 第十七條 加入者ハ其使用ニ供スル電話機ニ依リ左ノ通話ヲ爲スコトヲ得
 - 一 同一電話交換局ニ屬スル加入者トノ通話
 - 二 他ノ電話交換局ニ屬スル加入者トノ通話
 - 三 第十八條ニ據リ電話所ニ來リ通話スル者トノ通話
- 第十八條 電話所ニ來ル者ハ電話通信心得書ニ據リ同一電話交換局ニ屬スル加入者又ハ他ノ電話交換局ニ屬スル加入者トノ通話ヲ爲スコトヲ得
- 第十九條 左ノ通話ハ毎五分時間マテナリ以テ一通話トス
 - 一 電話所ニ來ル者ト加入者トノ通話
 - 二 所屬電話交換局ヲ異ニスル加入者相互ノ通話
- 本條ノ通話ハ一通話時ヲ超エテ繼續スルコトヲ得ス但シ他ノ通話請求ナキトキハ此限ニ在ラス
- 第四章 料金
 - 第二十條 加入申込者ハ加入登記料ヲ納ムヘシ
 - 特別加入區域ニ屬スヘキ加入申込者ハ加入登記料ノ外電話線接續料ヲ納ムヘシ
 - 第二十一條 加入者ハ電話使用料ヲ納ムヘシ
 - 特別加入區域ニ屬スル加入者又ハ第十八條ニ據リ卓上電話機ヲ設置シ若ハ第九條ニ據リ機械ヲ増設シタル加入者ハ電話使用料ノ外附加使用料ヲ納ムヘシ
 - 第二十二條 加入者ハ第十三條ノ請求ヲ爲スコキハ機械移轉料ヲ納ムヘシ加入者特別加入區域内ニ於テ機械ヲ移轉シ請求スルコトキハ機械移轉料ノ外電話線接續料ヲ納ムヘシ
 - 第二十三條 電話所ニ來リ通話ヲ爲ス者ハ電話料ヲ納ムヘシ
 - 所屬電話交換局ヲ異ニスル加入者相互ノ通話ヲ爲シタルトキハ其請求者ヨリ電話料ヲ納ムヘシ
 - 第二十四條 電話使用料及附加使用料ハ年額ヲ四分タテ左ニ揭タル四期ノ別ニ從テ每一期分ヲ前期ノ末日マテ電話交換局ニ前納スヘシ
 - 第一期 四月一日ヨリ六月三十日まで
 - 第二期 七月一日ヨリ九月三十日まで
 - 第三期 十月一日ヨリ十二月三十一日まで
 - 第四期 一月一日ヨリ三月三十一日まで
 - 第二十五條 加入初期ノ電話使用料及附加使用料ハ電話開通ノ日ヨリ其期ノ末日ニ至ルマテノ日數ニ應ジ年額金ノ日割ヲ以テ開通ノ日ヨリ十五日以内ニ電話交換局ニ之ヲ納付スヘシ其加入後新ニ附加使用料ヲ納ムヘキ場合ノ生シタルトキ亦同シ
 - 第二十六條 加入者第十一條第一項ノ加入期間内ニ於テ加入ヲ取消シタルトキ又ハ加入ヨリ除名セラレタルトキハ其期間内ニ屬スル電話使用料及附加使用料ノ未納額一時ニ納付スヘシ
 - 加入者第十二條ノ取消請求期限ヲ過キテ加入取消ノ請求ヲ爲シタルトキ又ハ第三十二條第二項ノ場合ニ於テ當該加入期ノ末日ヨリ少クモ十五日以前ニ第八條第二項又ハ第九條第二項若ハ第十三條ノ請求ヲ爲シタルトキハ其次期ニ屬スル電話使用料及附加使用料ヲ納付スヘシ
 - 第二十七條 電話料ハ左ノ區別ニ從ヒ之ヲ納付ス
 - 一 電話所ニ來ル者ハ一通話時ノ料金ヲ其電話所ニ前納シ一通話時以上ニ涉リタルトキハ通話ヲ終リタル後其未納料金を納付スヘシ
 - 一 加入者ハ一月分取額ノ翌月二十日マテニ電話交換局ニ之ヲ納付スヘシ
 - 第二十八條 加入登記料ハ加入申込ヲ爲スコキ電話線接續料及機械移轉料ハ電話交換局ノ指定スル期日マテ市電交換局ニ之ヲ納付スヘシ
 - 第二十九條 加入登記料、電話使用料、附加使用料、電線接續料及機械移轉料ノ金額ハ別ニ之ヲ定ム
 - 第三十條 前條ノ料金ハ都テ郵便切手ヲ以テ納付スヘシ
 - 第三十一條 加入登記料、電話線接續料及機械移轉料ハ其申込又ハ請求ヲ取消シタルトキト雖モ電話所ニ來ル者ノ前納シタル電話料モ己ノ郵便切手ニ消印シタル後ハ之ヲ還付セズ

第三十二條 加入者第十一條第二項ノ加入期間内ニ於テ加入ヲ取消シ又ハ加入ヨリ除名セラレタルトキト雖其期間内ニ屬スル電話使用料及附加使用料ハ之ヲ免除セズ

電話機及其附屬物品ノ移轉又ハ増設機械ノ撤去若ハ電話機ノ變更ニ因リ附加使用料ノ消滅又ハ減少スヘキ場合ニ於テモ其期ノ附加使用料ハ之ヲ免除セズ

第四十條 二線ノ通話ヲ停止セラレタルトキモ亦其停止期間ノ電話使用料及附加使用料ヲ免除セズ

第三十三條 加入者ノ懈怠過失又ハ故意ニ因ラスシテ電話不通ニ至リ其日數十五日以上ニ亙ルトキハ不通期間ノ電話使用料及附加使用料ヲ微收セズ若シテ加入者ノ請求ニ依リ其不通ノ日數ニ應シテ年額金ノ日割ヲ以テ之ヲ還付ス

前項不通ノ日數ハ電話交換局ニ於テ其事故ヲ認メタル日ヨリ起算ス

第五章 雜則

第三十四條 加入者ノ使用ニ供スル電話線、電話機及其附屬品ハ電話交換局ニ於テ之ヲ設備ス

第三十五條 電話交換局ノ時々吏員又ハ其所屬員ヲ派遣シ加入者ノ使用ニ供スル電話機設置ノ際宅構内ニ在ル電話線電話機及其附屬品ヲ點檢セシムヘシ此場合ニ於テ其身ヲ附屬品トシテ檢査シテ其費用ヲ負擔セシムヘシ

第三十六條 電話交換局ノ加入者ノ使用ニ供スル電話線、電話機及其附屬品ヲ撤去シ又ハ移轉スル場合ニ於テ其電線、機械及物品ノ設置ノ際リタル遺棄物ヲ原形ニ修復スルノ責任ニ任セシム

第三十七條 加入者ノ懈怠過失又ハ故意ニ因リ其使用ニ供スル電話機設置ノ際宅構内ニ在ル電話線、電話機及其附屬品ヲ亡失毀損シタルトキ又ハ第三十九條ニ違背セル所爲ニ依リ復舊工事を要スルトキハ加入者ニ於テ其補充又ハ修繕ニ要スル費用ヲ負擔セシム

第三十八條 加入者ハ報酬ヲ受ケテ其使用ニ供スル電話機ヲ他人ノ用ニ供スル又ハ報酬ヲ受タル者ニ之ヲ貸與スヘカラス

第三十九條 加入者ノ其使用ニ供スル電話機設置ノ際宅構内ニ在ル電話線、電話機及其附屬品ヲ移轉シ又ハ其設置法ヲ變更シ若ハ之ヲ分解スヘカラス但水火其他ノ事變ニ際シ保護ノ目的ニ出テタル場合ハ此限ニ在ラス

加入者ハ其使用ニ供スル電話機設置ノ際宅構内ニ在ル電話線、電話機及其附屬品ニ他ノ線條、機械等ヲ連結スヘカラス

第四十條 加入者電話使用料、附加使用料及電話料ヲ規定ノ期日マテニ納付セサルトキ又ハ第三十七條ノ補修費ヲ納付セサルトキハ其滞納ノ期

間通話ヲ停止スヘシ

加入者前條第一項ニ違背セル所爲アリタルトキ又ハ故ナク第三十五條ノ點檢ヲ拒ミタルトキハ七日以内ノ期間通話ヲ停止セラレタルヘシ

第四十一條 加入者第三十八條ニ違背セル所爲アリタルトキ又ハ前條第一項ニ據リ通話ヲ停止付セラルトキヨリ其加入者ノ加入ヨリ除名スヘシ加入者第三十九條第二項ニ違背セル所爲アリタルトキ又ハ前條第二項ニ據リ一年二回以上通話ヲ停止セラレタルトキハ其加入者ヲ加入ヨリ除名スルコトアルヘシ

第四十二條 前條ニ據リ加入ヨリ除名セラレタル者ハ其除名ノ日ヨリ滿一年ヲ經過スルニアラサルレハ再ヒ同一ノ電話交換局ニ加入申込ヲ爲ス得ス

第四十三條 電話交換局ハ電話交換ヨリ生スル一切ノ事故ニ對シ其責任ヲ任セズ

第六章 附則

第四十四條 此規則施行前ニ開通シタル電話機及電線ノ使用料ハ明治三十一年三月三十一日マテ尙明治三十三年逓信省令第八號同ノ逓信省令第九號明治三十二年逓信省令第九號明治二十九年逓信省令第十二號及明治二十三年逓信省令第七號電話交換規則第十三條ノ金額ニ據ル

第四十五條 明治三十三年逓信省令第七號電話交換規則ニ據リ加入シタル加入者ノ第一條及第十二條ノ期限ニ拘ラズ明治三十一年三月三十一日マテ加入取消ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第四十六條 此規則施行前ニ加入申込ヲ爲シタル者ノ電話開通ノ順序ハ工上申込ノ日ヨリ算スルニ於テハ明治三十一年三月三十一日マテ開通ノモノヲ限リ其中込ノ順序ニ據ラサルコトアルヘシ

第四十七條 明治三十三年逓信省令第七號電話交換規則ハ此規則施行ノ日ヨリ廢止ス

●電話交換料金額 (十二月一日逓信省令第三十二號)

一、加入登記料及費用

地名	加入登記料	電話使用料年額
東京	金十圓	金六十六圓
大阪	金十圓	金六十六圓
京都	金十圓	金六十六圓
神戶	金十圓	金六十六圓
名古屋	金十圓	金六十六圓
福岡	金十圓	金六十六圓
仙台	金十圓	金六十六圓
青森	金十圓	金六十六圓
岩手	金十圓	金六十六圓
秋田	金十圓	金六十六圓
山形	金十圓	金六十六圓
宮城	金十圓	金六十六圓
茨城	金十圓	金六十六圓
栃木	金十圓	金六十六圓
群馬	金十圓	金六十六圓
埼玉	金十圓	金六十六圓
千葉	金十圓	金六十六圓
東京	金十圓	金六十六圓
大阪	金十圓	金六十六圓
京都	金十圓	金六十六圓
神戶	金十圓	金六十六圓
名古屋	金十圓	金六十六圓
福岡	金十圓	金六十六圓
仙台	金十圓	金六十六圓
青森	金十圓	金六十六圓
岩手	金十圓	金六十六圓
秋田	金十圓	金六十六圓
山形	金十圓	金六十六圓
宮城	金十圓	金六十六圓
茨城	金十圓	金六十六圓
栃木	金十圓	金六十六圓
群馬	金十圓	金六十六圓
埼玉	金十圓	金六十六圓
千葉	金十圓	金六十六圓

二、附加使用料

一、特別加入 特別加入區域内ノ 金二圓

但町數ノ計算方ハ普通加入區域ヲ距ル電話

●電話交換料金額 (十二月一日逓信省令第三十二號)

一、特別加入 特別加入區域内ノ 金二圓

但町數ノ計算方ハ普通加入區域ヲ距ル電話

●電話交換料金額 (十二月一日逓信省令第三十二號)

一、特別加入 特別加入區域内ノ 金二圓

但町數ノ計算方ハ普通加入區域ヲ距ル電話

●電話交換料金額 (十二月一日逓信省令第三十二號)

一、特別加入 特別加入區域内ノ 金二圓

但町數ノ計算方ハ普通加入區域ヲ距ル電話

●電話交換料金額 (十二月一日逓信省令第三十二號)

一、特別加入 特別加入區域内ノ 金二圓

但町數ノ計算方ハ普通加入區域ヲ距ル電話

●電話交換料金額 (十二月一日逓信省令第三十二號)

一、特別加入 特別加入區域内ノ 金二圓

但町數ノ計算方ハ普通加入區域ヲ距ル電話

人造香粉 小町櫻

右小町櫻洋風花かた之義第一男女の顔の色を
白くし艶をまし肌理をこまやかにしにきびそはか
すを治し如何はとあれ性の顔にても此小町さくら
を用ゆれば白粉のつかざる事なく白粉のうれひ
等少しもなしたまふ身の何れにても用ひなざる
れば肌をこまかにしひひもやけわかざれ切傷や
けさでもさものは勿論糸は九場の浮婦人方系か
せに用ひて速功ある良品なり

製造發賣元 濱田東陽堂
東京淺草區代地
東京通油町廿一番地
特約一手販賣 村田藤七
全國至ル所ノ同業各店ニ於テ販賣仕候



登錄 商標
抑々婦人の齒を染るは我國古代よりの風俗にして
只其容器を粧ふのみならず第一口熱を去り齒の根
を固め平常用ひ給はば幾萬代も口中の患を免へ
す故に拙家發賣の(さくら)は多年品質に心を凝
し發明せしものにして染つきの速なるを容易に元
る事なく其効驗の著しきは實に天下無二の良品に
して是れ世間に有りふれたる「よし類」の及ぶ
可き品に之れなし希はくは世の浮華君方時代の教
を守り永く皇國の美風を傳へられん事を願ふ
賣捌所は全國到處の小問物店に取次有之候間
最寄にて請求の程奉願候

改良蠟引紙壽賀 博覽會有功賞銅牌



●本品の販路益々大なるに付近頃似て非なる類
似品を以て本品の顧客を購せんとする者往
々有之候に候間御購求の際は本店の名義御注
意を乞
●電話浜花
四四八番
●發賣元 東京橋町四丁目
●改良蠟引紙壽賀本舖
●引製 護謄壽賀本舖
●善丸見屋善兵衛



●玉のつやハ縮毛をしなやかにする事妙なり
●玉のつやハ常に用ゆれば毛髪育ます
●玉のつやハ水油の代用をなす經濟品なり
●玉のつやを用ゆれば髪のみけを去る事妙なり
●玉のつやを用ゆれば芳香濃郁して悪臭をのぞき
●惡病流行の時などハ傳染の豫防となる
●玉のつやハ用法輕便にして衛生上無比の品なり
●本舖 東京日本橋區戸町 玉置金八
(電話九百六十八番)
●神田南神保町二番地
●淺野區前森田町
●日本橋區馬場町
●兩國米澤町
●京橋區銀坐一丁目
●大坂東區道修町
●此外全國藥舖賣樂店小問物店
●玉置分店 玉置分店 玉置分店
●大平分店 大平分店 大平分店
●佐々木分店 佐々木分店 佐々木分店
●武藏野分店 武藏野分店 武藏野分店
●武藏野分店 武藏野分店 武藏野分店

直上廣告

諸石鹼 割上ヶ

全國愛顧諸君に謹告す、諸君も豫て御熟知の如く近
時諸物價の騰々として昇騰するに伴ひ我製造の石鹼
原料及び職工賃等も亦非常騰貴するの氣運に際し
たるも拘らず弊組合は可成丈從來の價格を保續し
て各位の厚意に酬るの覺悟を有りと雖も如何せん此
收支不償の場合に於て強て之を遂行せんと欲せば又
自ら粗製と濫造の流弊を醸すと世間往々其例乏し
からず是に於てか弊組合は止を得ず今、回諸石鹼の定
價に、一割を直上し以て品位の善美を繼續すると同時
に又益々改良を加へ併せて粗製濫造の弊を矯正防止
する事に協議一決せり全國愛顧諸君莫くは御了諾あ
らん事を

東京石鹼製造業組合 事務所

●議員の任期に就て 現在の衆議院議員の任期に就ては内閣の意向を始め世間の取沙汰も種々あり、要するに其任期を二箇月間縮むも十箇月間延ばすも強て差支はあらずとの説に歸するが如し、斯る解釋の果して通じ得べきか衆議院議員選挙法第六十六條に議員の任期は四箇年とするの明文あり、此四箇年の文字を滿四箇年とするの解釋は固より適當なることなれど、滿四箇年以上の月をも四箇年に數へ込さんとすれば恰も厘毛の勘定に四捨五入法を用ひて錢厘に切り上ぐるものと同一事、其法を用ひて改選期を明年七月とすれば議員の任期恰も五箇年とあるべきに依り、明年七月の總選挙は當然のことなるのみか、所謂四箇年の語中には、歳入出の豫算を四回試するの意味を有せることは常論であるもの、至も是はさる所なり、或や其七月を以て普通選挙の期と定めたるものは七月一日より翌年六月三十日までを一箇年とし、歳費の如きも其半箇年に割り當つべきものは十二月に仕拂ひ、残り半分を一月より六月までの間に於て仕拂ひ來れるは勿論、若しと論者の如く強て差支なしとして勝手に任期を延ばし得るものとせば議員は時として五箇年間の歳入出豫算を議することとなるべし、此の如き不都合は如何なる勇氣あればとて政府の妄斷し能はざる所なるべし、斯る明白なる問題に猶ほ且つ云々の説あるこそ淺聞しけれと、現政家は云へり。

●繪草紙屋の困難 東京市内の繪草紙屋は總計百四十九軒、其内發行權を有し自ら發行をなせる者は用餘りして各々意匠を凝し競争の有様なるが、昨年以來物價は日々に騰貴し殊に繪草紙の原料たる紙は殆んど一倍の高直となり、板木の膠及び印刷費は孰れも昂騰して昨年より四割高となり、たれば隨つて其れに相應の高直にて販賣せざれば收支相償はざる故、同業者協議の上二割方の直上げをなし、たるに高直にては賣行を急ぎ、販りて尙ほ更ら困難を増すに至り、たれば其後五分を引下げ、一割五分の直上げにて販賣し居れり、本年も最早歳暮に際したれば、本年一月を當込み何か、斯る奇異なるものを發行して衆目を引かんとするの計畫は、繪草紙屋もなきにあらざるも、如何せん前此の有様にて折角苦心焦慮して發行すれば、進も相償はざれば、新紙ものを發行せんとするものは極めて少なしと云ふ發行權を有する繪草紙屋にして、斯る有様なれば、請買を業とする繪草紙屋は其困難一層甚だしきよし。

●目下の經濟策 京都商業會議所は去二日の夜を以て臨時總會を開き、目下の經濟策として日本銀行は金利を引下げ貸出を滑かにし、且新に五千萬圓の流通貨幣を漸次増發すべしとの決議を爲せり、其理由書左の如し。

物價の騰貴と實業萎縮とは目下我經濟世界の二大症候たり、然り而して此實業の衰退を挽回せんと欲せば、須らく通貨を増給せざる可らず、然れ共論者は今通貨を増發する時は物價益々騰貴して益々輸出の不平均を生ぜんと恐るべし、而して結果は現今に於ける物價の騰貴は全く通貨膨脹の結果なりと信せり、然りと雖も物價の騰貴は決して論者の信ずるが如き理由に依るものにあらずれば、聊か左に其原因を陳稱せん。

内外交通の影響は物價に著しき變動を生ずると論を發す、蓋し日清戦争の前我邦の銀貨國なりし時、物價は既に世界市場の影響を受けて大に騰貴すべきの兆候を呈せり、然れ共當時は尙ほ我邦貨の情性に依り二三商品を除く外は未だ俄に其騰貴を得ずとを許さざりし、會々日清の戦闘となり、舉國皆應分の軍事に熱中し、其間幾んど二年間已むを得ざる生産を除く外は殆んど全く其事業を中止せり、當の事業の中止のみならず、此間に於て破格ある産物の消費を爲せり、累年蓄積したる産物の大部は此戦役に於て略ぼ消費し盡せり、且過言にあらざる其の戦の一度局を結ぶに及んで戦後經營の増設となり、於て是乎陸海軍の軍備擴張として、鎮守府の増設となり、都督部の創立となり、其司令法の如きは最も早く任命を見るに至り、之に次で各軍部各部隊の將校は續々として進級補職若くは増俸の辭令に接せり、當時官私の事業勃興して、鐵道架設其他諸種の事業は、爾後の春草の如く一時に萌生したるが爲め、諸種の材料と勞力とは急激に其需用を高み、久しく潛力を蓄へたる物價は此時忽然として暴騰すること爲りしなり。

物價暴騰の原因は尙ほ是のみに止まらず、戦後に於て人口は著しく増加し、且臺灣其他に於て莫大の内

●繪草紙屋の困難 (續) 東京市内の繪草紙屋は總計百四十九軒、其内發行權を有し自ら發行をなせる者は用餘りして各々意匠を凝し競争の有様なるが、昨年以來物價は日々に騰貴し殊に繪草紙の原料たる紙は殆んど一倍の高直となり、板木の膠及び印刷費は孰れも昂騰して昨年より四割高となり、たれば隨つて其れに相應の高直にて販賣せざれば收支相償はざる故、同業者協議の上二割方の直上げをなし、たるに高直にては賣行を急ぎ、販りて尙ほ更ら困難を増すに至り、たれば其後五分を引下げ、一割五分の直上げにて販賣し居れり、本年も最早歳暮に際したれば、本年一月を當込み何か、斯る奇異なるものを發行して衆目を引かんとするの計畫は、繪草紙屋もなきにあらざるも、如何せん前此の有様にて折角苦心焦慮して發行すれば、進も相償はざれば、新紙ものを發行せんとするものは極めて少なしと云ふ發行權を有する繪草紙屋にして、斯る有様なれば、請買を業とする繪草紙屋は其困難一層甚だしきよし。

長倉倉爲

長倉倉爲

長倉倉爲

全大醫 實驗証明

安永舎

二王后

製造元

安永舎

東京牛込馬場町

販賣店は全通至る

●販賣店は全通至る

CORAR DEALER

皇 泊来 珊瑚珠

珊瑚樹 枝置物數種 其他珊瑚一切

珊瑚 美術彫刻品 所需三應

今般業務擴張致爾後多少三拘ラズ廉直販賣仕候間御愛顧御引立ノ程奉願上候

珊瑚珠樹問屋 大坂南區大寶寺町 小栗勘兵衛本店

東區馬場町三丁目 小栗勘兵衛支店

近頃弊方本店又々支店員ナリト偽リ地方行商スル者有之由御及申候附テ、此後罷出候時ハ早速御通照願度、本支店ヨリ差遣仕候節ハ前以テ御案内御願書上置候向承知ノ店印判持參爲致可申候間是又併而申上置候

▲羽子板の流行 近年羽子板の形は殆ど一定して、唯其押書に新奇を競ふに過ぎざりとも、其押書へ俳句の似顔と極其威風の出物によりて製出するのみ本年も其種類數十種ある中に、最も流行するは道上寺、常盤、日高川、和唐内、忠臣藏、清原多助、大森彦七、菊五郎の墨の九種にして、就中菊五郎の大森彦七と菊五郎の墨は、向けて羽子板の形をなすが、今日までの處にては、人気が青羽屋に傾けるが如し、其相場は概して昨年比し三割方の騰貴にして、諸種の相場を記せば、並小鏡一人三十錢、二人四十錢、中上小鏡一人四十錢、二人五十錢、上小鏡一人六十錢、二人七十錢、並大鏡一人四十錢、二人五十錢、中上大鏡一人五十錢、二人六十五錢、上大鏡一人七十錢、二人九十錢、並孫一人八十錢、上孫一人一圓、二人一圓二十錢、極上孫一人一圓三十錢、二人一圓六十錢、三人一圓七十錢、上尺八寸二圓十錢、上尺二圓五十錢、極上尺八寸二圓七錢、二人三圓、極上二尺五寸四圓より六圓迄、極上三尺七圓より十圓迄にして、最も賣行好きは孫なりと云ふ又羽子板同様昨年より三割方の騰貴にして、上七錢より下七八圓迄なりと

▲本年度市内電話の開通期 本年度内に於て東京市内に架設すべき電話十五百個は引續き工事中にて、内七百個は殆ど竣功し、今之を繼續すべし地下線交換本局と浪花分局間及び分局と鏡橋間を夜間に掛け工事中にて、来る二十日迄には是非竣功せしむる見込みなれば、右の七百個又は同日か遅くも二十五日頃には開通すべしと云ふ

▲金融と農工銀行 近時或一派の實業家は、説を爲して曰く、今や我國の經濟界は資金の缺乏を感ぜ、前途有望の事業も爲めに挫折せざるを得ざるの非に陥らんとする時に、當り各地に農工銀行を設立するが如きは、此趨勢を助長して益々切迫せしむるものなれば、宜しく之を中止し、他日經濟界の順境に復する機会を待たざるべからずと、然るに或財政當局者之に對する談話に依れば、今日こそ之を設立するに最も適當なる時機なれば、何と云ふ之を、其財力膨脹したるの觀われども、其多數は世の所聞

株屋一派の爲りに吸収せられたるものにして、生産的に使用すべき資金は、存外多からざるなり、元來株屋連の一時の放棄は、決して誠實に國家の利益を損ねざるものにあらずして、却て之が爲りに生産的の事業に投資すべき資金を、是るの傾向あり故に、寧ろ資本の方向を轉じて、現に缺乏を感ぜつゝある生産資本に向はしめざるべからず、而して生産資本の多からざる今、農工銀行の設立の急務たるは、論を疑はざるなり、故に之が設立に反對する一派の論者は、其株主となるべき者が、都會の商業家にあらずして、地方の農家たる事及び、其農家が甚だ除裕ある事を忘却せるものなり、近來各地方の農家は、連年米價の騰貴に依りて、著るしく富の程度を高めたるは、推して、是る事實にて、此等農家の資本融通の道を知らざる輩にして、農工銀行の株主たるしむるに於ては、決して資本の乏しきを憂ふべき今日、あらず、寧ろ設立の最好時期なりと云ふべし之に反し、若し地方農家の餘裕金を、して株券投機或は奢侈的浪費に用ふるあらば、諸種の機械的企業は、爲に一時活氣を呈するが如き事なきにあらずべし、物價は益々騰貴し、輸入超過の逆勢は益々昂進し、國家生産的の資本は大に缺乏を來さざるを得ず此の如きは、決して資本の運用其宜しきを得たるものと云ふべからず、此際機械的に放たせらるべき資本を、善く之を生産的の資本と爲さしむる農工銀行設立の如きは、實に現今の經濟界に處する急務中の最急務なるべしと云ふ

▲大阪の經濟界 東京より少なき資金を以て、東京より多き事業を企圖し、成功せり大阪商人の自ら誇る所にして、是れ即ち大阪の經濟市場の東京に比し常に脚指に陥り、是れ所以に、少なき資金を以て成るべく、多くの事業を成功するは、事業家の願前として、固より望む所なれば、限りの資金を以て、限りの事業に、應せんとするは、人間の胸に耐ふべきにあらず、其手を擴ぐることを、斯くだけ其難局に陥り、是れ當然の事なり、左にても、大阪商人は如何にして、斯く手を擴ぐることを得たりやと云ふに、經濟界に、分業行はれず、銀行家は自ら事業家となつて、事業を企て、事業家は自ら銀行を起して、資金

●不変色 ●東洋美術新珊瑚珠
●保險付 ●文明其事物ノ進歩セル實ニ枚舉ニ遺ナキノ時トシテ彼ノ人珊瑚珠及赤玉類ノ如キモノ
●世ハ明治歲ニ文明其事物ノ進歩セル實ニ枚舉ニ遺ナキノ時トシテ彼ノ人珊瑚珠及赤玉類ノ如キモノ
●雨毎ニ續出スト雖舊之レ一視其人造物ナキ事ヲ判別シ得ル物ノミナリ然ルニ弊店發賣ノ東洋新珊瑚
●ハ俄等模造品ト全ク其趣チ異ニシ左ノ
●特色ヲ有ス

珠珊瑚新術美等高



注意(東洋新珊瑚)萬目ノ視ル處天然珊瑚トモ異ナル所ナシ故ニ各位ノ御買辦ニ際シ御取
●物店ニ賣捌所アリ

但シ壹個每箱入リ 美麗ナル

簪緒根掛玉玉玉

東京美術新珊瑚珠特色ノ概略
●本品ハ眞正ノ珊瑚珠ニ異ナラス
●本品ハ眞正ノ珊瑚珠ノ如ク變色毀損セズ
●本品ハ眞正ノ珊瑚珠ノ如ク金銀ナラフ有ス
●本品ハ眞正ノ珊瑚珠ノ如ク目ヲ有ス
●本品ハ眞正ノ珊瑚珠ノ如ク大玉ナラフ有ス
●本品ハ眞正ノ珊瑚珠ノ如ク小玉ナラフ有ス
●本品ハ眞正ノ珊瑚珠ノ如ク大玉ナラフ有ス
●本品ハ眞正ノ珊瑚珠ノ如ク小玉ナラフ有ス
●本品ハ眞正ノ珊瑚珠ノ如ク大玉ナラフ有ス
●本品ハ眞正ノ珊瑚珠ノ如ク小玉ナラフ有ス

美人社會高評傳化粧品大王

西洋各國にて大流行の實に奇妙なる「無毒せる御化粧粧」別號おまろい一名透明水白粉

原品直輸入元 獨乙イヌギヤ會社

化粧品小問物問屋 三橋兔喜次郎製

大瓶 二十錢 中瓶十四錢 小瓶七錢
別製 五十錢 三十錢

此別號かしらるゝ一目見れば只の清水の如くなれども不思議に白くする事雪の如く玉の如く行水湯あがりかみを用ひずして其場ですぐに用ふるも決してむらにならず○あせり○よきで物は立所にさがるがゆゑにこれを用ひ玉は一人一倍の光彩を放つ

化粧品小問物問屋 三橋兔喜次郎製
東京市日本橋區橫山町三丁目一番地

約特代理店
●三橋兔喜次郎製
●東京市日本橋區橫山町一丁目 天野源七
●同馬喰町四丁目 平尾實平
●同馬喰町三丁目 九尾屋善兵衛
●同神田區板橋町三丁目 山田篤三
●同神田區板橋町三丁目 武井龍三
●全國至る所の小問物店及藥店に販賣所あり

餘興

○思ひ出るまへ (二) 桐の屋主人

何時の事にもありけり思ひ出るまへの一餘
 を書きて商報の紙上に掲げたるが其後隨はる節
 のありて筆を執るべき暇を得ず視の海さへ潮々
 になりて水室の跡久しく絶えたるが此頃少しく
 間を得たればいかで續けて書かんものぞと札の
 上に腕を曲ぐれば世にある事あらまほしき事怪
 し物狂はしきまで種々のよしなしこと思ひ出
 たるまへ筆の行くに任せて斯くは物しつ素より
 古き文でも撰選して思ひを續けたる程のものな
 らねば痴人の夢を説くに等しけれと讀む人の心
 に迄ばかりだも益する節のあらば己れの幸ひと
 する所なりかし

をへ

親の子を教ふる主人の召使ひを教ふる大方は皆同
 じき道なり近き頃までは主なるもの召使ひに向ひ
 て餘り教ふる事をせず唯奴婢との思ひ込しみて
 身に相應しからぬ用向を吩咐け無難な小言など
 いひ罵しりし事もありしが今は左なる事はなき様
 になり我子も召使ひも唯親子主従の別ちあるのみ
 にて一視同仁、其足らざるを教へ及ばざるを導び
 く様になりたるう芽出度き子たるもの親の恩の高
 きを思ひ從たるもの主の思ひの深きを忘れず己が
 たゞ其勤に勵むべきなり左れば其教への道にも自
 づからの緩急あり餘り緩きは好しからぬ事なる
 が餘りに急に過ぎて著の上下しにも斯くせよ左は
 せぬものぞと一々にいひ答むるは却りて其子其召
 使ひの心を痛ましめ其智恵を鈍らしむるの恐れあ
 り己れ或時朋友の悲を固めるを見るに白持つ方も
 黒なる方も所請ざる恭として左りの手に數多の石を
 かき攪み右の手にて交るゝ打つに死せるもの忽
 ち生かせるもの忽ち死し待よといひ待たぬとい
 ひ二ツの石を奪ひ合ふ様なかゝにかしがまし他

目より見れば其石一ツ待ちたりとて待たしとて如
 何様にも手はあまるものを腹抱ゆる計りなるを或
 人見るに見兼ねて一ツ助言すれば彼方に亦助
 言の人加はり果は助言者も助言者との争をひとな
 りて肝腎の石持てるものは其盤の上に眼くるめき
 て何處へ打つべき思案も出でず徒づらに助言者の
 爲に石を運ぶ使となり果て生るも死ぬるも知らぬ
 内に勝負は附きけり已れ是を見て思ふやう助言は
 即ち教へなり助言さるものは教へを受くるな
 り教ふるもの心を用ひず狼りに嘴をのみ容るゝ
 時は教へらるゝもの善惡の境を弁ふる暇なく宛
 然五里霧中に迷ふ心地して終には何の得る所もな
 かるべし他目に物を見る時は總て善惡明らかに
 見ゆるものなれば其局に當れるものは彼を思ひ是
 を思ひて心必らず迷ふものなり其迷ひの中に自か
 ら一方の道を考へ出して打つものなれば寧ろ狼り
 に助言せず彼等の心に任せ置き自から智恵を働か
 しむるこそ其進みも早く何時しか上手にはなるも
 のなれば其迷へるを見て程よく教へ其到らざるを見
 て可憐に憐れむか教への道始めて全たきを得らる
 べし世の子を持てるもの召使ひを使ふもの其心し
 て教へなば其智恵のはかりは寧ろ感しく短め直
 さんとて急に責付くるよりは優るべし

女子

女子の其姿容に似ず軽々しく振舞ふは片腹痛
 業なり左りとて餘りに思ひ屈して人の前に出るを
 厭ひ垂籠めてのみあるは好もしからぬ事なり其中
 間を能く弁まへて輕からず重からぬまでに振舞ふ
 こをまことに相應しくいみじきものなれば嫁入
 らん程の年頃せし女子は別て心用ひを大切にすべ
 きなり良家の娘の餘りに美著なる衣著たるは其心
 さまも思はれて腹しきものなれば餘りに派手なら
 ずまたじみならぬを辨むべし親同胞は朋友など
 への女のかさ様餘りに拙なれば見苦しきものなれ
 ば女文字のたしなみは拙ながらぬまでであり度さ
 らぬが左りとて筆を廻し要なきに六ヶ敷き漢語

赤十字石

赤十字石造製廠石字十赤
 舖本造製廠石字十赤
 舎興整村井

地番七〇百町住永區京東
 舖本造製廠石字十赤

赤十字石造製廠石字十赤
 舖本造製廠石字十赤
 舎興整村井

花の巻

東京在園堂

製造元 東京在園堂

大販賣店 東京在園堂

優等 入香麝

石高 評

製練別

發賣元 東京市神田區柳原川岸十八番地 小林富治郎

市內は勿論全圖到處の和洋小問物店及藥舖に販賣致し居候間最寄にて御購求を乞ふ

雪梅

本品の特色

多量ノ人造麝香ヲ含有スレ
 他品ニ比シテ芳香ハ最モ優
 等ナリ價格廉價ニシテ且モ
 最モ多ク功用ハ兩酸揚酸及
 皮腐ノ等美ナル事ヲ保證ス

製造元 東京市神田區柳原川岸十八番地 小林富治郎

大販賣店 東京市神田區柳原川岸十八番地 小林富治郎

丹頂堂

製造元 東京市神田區柳原川岸十八番地 小林富治郎

大販賣店 東京市神田區柳原川岸十八番地 小林富治郎

優等 入香麝

石高 評

製練別

發賣元 東京市神田區柳原川岸十八番地 小林富治郎

市內は勿論全圖到處の和洋小問物店及藥舖に販賣致し居候間最寄にて御購求を乞ふ

●山田農相と職工條例 過般來志村工務局長の下に編製された職工條例は目下農相秘書官の再調査を経つてあり山田農相の意見は同條例中に於ては少くも或條は日本現時の習慣に反する者ありのみならず之を其儘に實行する時大に弊害を來すの恐あるものなれば是等は充分研究の上工務局長の意見をも聞き充分改正を加へて後議會に呈出するの餘地あれば之を提出せん等なりと聞く

●營業税法全廢意見書

全國商業會議所聯合會の決議に依り營業税法全廢建議案の起草委員に囑託せられたる金澤橫濱京都東京の四商業會議所が審議の上起草し政府へ建議し尙帝國議會へも請願する由なるが其全廢意見書は左の如し

現行營業税法は大体に於て不良の税法たるに止らず税法に於ては課税標準の明確不動なること及び徵收方法の簡易公平なること二要素は全然之を缺けり同法制定以來批難百出時に其實施に際して物情騒然官民乖離の狀ありに至りしもの職として此に由らずんばあらざるに至りし國民の勤勞勉勵に課するを以て本旨とすべし營業税法は賣上金額、資本金額、報償金額、請負金額の如き類を課税標準として専ら商工業者の勤勞勉勵に課税するの方針を取りし是の如くんば實に商工業者の勤勞心を阻するのみならず其極度に於て不良の税法たる所以なり而して同法は賣上金額、請負金額、報償金額、建物の賃借料、従業者を以て課税標準と爲せりとも個人の營業に在ること至難なるものならざるはなし故に之が賦課を定むるに當り營業者の申告に收税吏の臆算に一致せず種々の検査と幾分の手數とを要し而かも其徵收の結果同一營業に於ては寛苛輕重甚だしく其度と異にするを免れず徵税費のみ徒らに多きを加へて國庫に收入する所豫期の如くなる能はざるに至る畢竟其是の如くなる所以のものに課税の標準明確を缺き徵收方法簡易ならず賦課の全部を舉げて收税吏の認定に一任するの外なきが爲のみ熟考同法實施以後の狀況に徴し併せて司法の大體より考案するに尙後總令之を修正加削するも到底完全なる税法たらしむるに由なしと信ず故に現行營業税法は速に之を廢止せられんとを望む

●財政整理期同盟會趣意書

田口卯吉、島田三郎、小室重弘、濱口吉右衛門外野氏の發起に係る財政整理期同盟會は過日來一兩會の協議を催はしたる上今同左の趣意書を發表したり

財政整理同盟會趣意書

余輩熟々近時我國の財政を觀るに殆んを其紊亂の極に達したる者如し物價急々下落して企業悉く衰廢し商賈は金利率の騰貴に堪へずして其手形を拂はざるもの多し國庫預金日々減少して兌換券益々増發せられ政府膨脹して歳入相償はす殆んを我が國家の大難運に自らせり

第一 本會を稱して財政整理期同盟會と云ふ
第二 本會は現今の財政を調査し整理の計畫を立てるを目的とす
第三 本會に左の役員を置く
第四 本會は會員の分擔とす
第五 總會及び評議員會は其都度幹事より之を通告すべし

●鬼外堂發賣口上等白粉の

中村福助大煙草原料
尾上菊之香
尾上菊之香
尾上菊之香

尾上菊之香
尾上菊之香
尾上菊之香

尾上菊之香
尾上菊之香
尾上菊之香

伊東鬼外堂
東京銀座
大坂全橋町
京都全橋町
神戶全橋町
横山町
尾上菊之香

萬國無類
有益之大王
此キング齒磨
輕便衛生德用清潔
見れば各々必要
此キング齒磨の特功
製元 東京 贊成堂
袋入定價 金拾三錢以上
製元 東京 贊成堂

田中東洗堂
東の便利販賣所
北村商店
北勝舎

厨燈一名
即席こんろ
大愉快
天狗の早わざ
大愉快

東京山崎町
發賣元 脇田盛眞堂
關代 大坂南久寺町
西理 同徳谷寺町
店賣販地各

東京新聞

第五卷



歲末御禮

本年も最早餘日無之各位迎春御用意の爲め定めし御繁忙の御事と奉恐察候陳者當小間物商儀各位の御引立を以て日に月に隆盛を極め今や數日を出ずして第三の新年を迎ふるの幸福を得候段深謝此事に候就ては來三十一年初刊より一層記事を正確とし益々印刷を鮮明にし其他百事に改善を加へ各位が平素の御厚意に酬ひ奉るべき準備總て整頓致候得べし何卒倍舊の御愛顧伏而奉希上候敬白

新年三種大附録豫告

來三十一年一月九日初刊の當小間物商報には商家の寶典とも謂つべき頗る至便有益の

美麗大附録

を添ゆるの外又

小町水ダイヤセント齒磨本舗
平尾贊平氏寄附

美術寫眞大附録

花王石繪本舗長瀬富郎氏寄附

優美彩色繪附録

をも添て進呈すべし而して本號は既定の頁數を二倍半即ち四十面とする事は前號既に豫告せし如く面すが猶ほ記事廣告の幅廣に因て紙

面の狹隘を感じるに於ては此上尙數頁を増加するやも計り難し

但し本號に限り特に逓送方御申込の向は壹部金五錢逓送の地は市内と雖も別に郵税金壹錢五厘を要す

東京小間物商報

發行所



●女子教育の訓令 本月十七日文部省訓令第十號を以て北海道廳府縣へ左の訓令を發せられた

方今小學教育ノ普及及師範教育ノ擴張トナ計圖スルノ際小學教員トテ男兒ト女兒トハ務メテ學級ヲ別チ教室ヲ異ニシ尙便宜學校ヲ別ニシ各其性質習熟ト生活ノ必要トニ應ジ最モ適切ナル方法ヲ以テ之ヲ教育センコトヲ要ス此ノ如キハ官ニ男兒教育ノ實相ヲ益々發揮スルニ必要ナルモノニ依リ自ラ女兒就學ノ數ヲ増スコトヲ得ン師範教育ニ在リテモ亦管理訓育ノ方法等益々女子ニ適切ナシムルヲ要ス故ニ公立小學校及尋常師範學校ノ施設ニ關シテ左ノ要項ニ依リ計畫スル所アルヘシ

一市町村村學校組合又ハ其區ニ於テ二個以上ノ尋常小學校若クハ高等小學校又ハ尋常小學校ノ教科ト高等小學校ノ教科トヲ併置スル小學校ヲ設置スル場合ニ於テ通學ニ妨ケナク且女兒ノ員數一學校ヲ構成スルニ足ルヘシト認ムルトキハ女兒ノ爲ニ學校ヲ別ニスル事

一二個以上ノ尋常師範學校ヲ設置スル場合ニ於テ女生徒ノ員數一學校ヲ構成スルニ足ルヘシト認ムルトキハ男女ニ依リテ學校ヲ別ニスル事

●女子ニ須要ナル高等普通教育ヲ施ス爲ニ高等女學校設置ノ計畫ヲ怠ラサルヘキハ亦要トス

ル所ナリ而シテ女子尋常師範學校ヲ設置スル場合ニ於テ土地ノ情況ニ依リ便宜高等女學校ヲ之ニ併置スルモ妨ケナシ

●不用燒草印紙處分 來一月一日より印紙類元買捌人、賣捌人及び燒草業者の所有する印紙の燒草印紙は其請求より政府に於て(所屬稅務管理局長をして)之を額面百圓に付九十三圓の價格にて買入るか又は額面と同額にて他の印紙と交換すべしとなり但し元買捌人、賣捌人及び燒草業者間に於ては右の價格割合に依らず任意に買賣交換するとを得せしむるなり

●東京大阪間の電話 逓信省電話上事の設計を聞くに東北端は北海道より西は長崎に達せしめんと希望されども先づ其第一着として電話局を東京名古屋大阪との三ヶ所に置き市街加入者及び一般公衆の需要に應せんが爲め目下大阪東京間の電話用機軸を諸外國に注文しありしが多分は本月中旬又は來年一月中には到着すべく其工事の着手は多分來年二月頃ならん若し來年二月に着手する事を得るとすれば之れが完成時は來年十二月頃なるべしに依り三十二年一月頃より一般の用に供せらるゝ運びに至らんか而して東京大阪間の電話線は銅線三條を用ひ電柱を全たく新に架設し其の使用料は五分間の對話は一圓内外の者ならんといへり

●電話新設地 前期議會に於て四日市、桑名、札幌、小樽、函館、馬關、福岡、長崎の八ヶ所に電話交換局を設置するの協賛を得たれども今日に至る迄逓信省にては該設置の擴張に忙がしく爲めに前記の新設事業に着手するを得ざりしが擴張の方以給々其緒に就きたるを以て急々これから新設地に技師を派出して來年度中には悉く開始せしむる都合なりと云ふ又此他廣島、岡山、熊本等の地にも電話を開始するの必要あれども是ハ來年度の豫算中に其費目を編入せしめて以上八ヶ所の竣功したる後に追々着手するの見込みなり

本組合議事

組合員退去 本組合員たりし松井朋九君は營業上の都合により今回退去されたり

五二會録事

● 總務委員會 本月十八日午後第一時ヨリ五二會東京本部事務所ニ於テ各部選出總務委員會ヲ開ク其結果左ノ如シ

● 第一回五二會全國品評會ト東京五二會館ト各委員ヲ異ニシテ調査ニ從事スヘキヤ否ヤノ件 本委員ハ之ヲ區別セテ總務委員會ニ於テ併行スルニ決シタリ

● 一派實業家の望む所 目下實業家中の有志者は其急務として日本銀行の準備準備を擴張し併せて同行擔保品の區域を擴張し且つ其價格を引上ぐべしとて過激な運動に意を致し遂に極力首相に面接し其事情を陳列して漸く保證準備を擴張することに内約を結べたる由 去りながら實業家中の多くは現時資金を融通すべき實業に乏しく居る爲め日本銀行が如何に保證準備を擴張し若くは兌換券を増發して貸出しを爲すも實は其底陰を蒙ることを極めて憂へ左れば準備の擴張のみにては有志者の所期救急策にはあらずるものなり故に此項更に同行の擔保品を大に擴張し且つ其附率を二割方も引上ぐる様交渉せんと目下内閣中なり若し其目的を達し得ば融通すべき實業も多くなり且つ從來の擔保品に對しても幾分か借出しの餘裕を得べければなり左れば有志者の主眼とする所の準備擴張は附けたりにして附けたりの擔保品擴張價格引上を其主眼とする所なりと云ふものあり

● 擔保品の缺乏 目下世間に於て資金缺乏、金融逼迫等々如く懸念立つるものあり成る程大體より云へば資金缺乏には相違なきも左りて此節季の經過に差支ふる程の逼迫なりとは信せられず試に日本銀行の貸出し振を見るに警戒を加へ

本組合注意

會總式定月一來

● 時日 一月十二日〇時三十分開會
● 柳橋柳光亭
● 前年度の事績
● 組合規約訂正の件及び各業組合聯合の件
● 例に依り一月十日迄に投票を事務所へ取
● 纏め十一月開票「組合役員立會」總會席
● 上に於て報告す
● 右終て新年宴會を開く 會費一名金一圓五十錢
● 但し投票用紙及入場券(會費引換)は其事務所より配布の筈なり

居れば別々に貸し出すことなく又各銀行が何れか云へば寧ろ資金潤澤の姿あり故に貸出日歩の如きは二三箇月以來更に變りなく依然二錢八九厘乃至三錢一二厘の間を在り左れば此節季に限り俄に金融逼迫したりとは云ふべからず然るに世間逼迫の聲高き貨人の方に非ずして寧ろ借主の方にあり即ち金融の逼迫に非ずして擔保品の缺乏なり何と云ふれば初夏以來株式は漸々下落し物價は漸々騰貴したる結果何れも金策に重なる今日に至りては最早金策すべき餘地と擔保すべき品なきに至りたるが爲なり故に正確なる擔保品へあれば銀行は左程貸し考へにはあらず或銀行家は云へり、臺灣銀行創立の延期 臺灣銀行創立委員會は

● 年内に於て定款の結了を告げ來株株式の政策に着手すべき筈なりし目下經濟界不振の折柄假令形勢の結了を見るも實地に株式募集を爲す能はざる場合あれば左で急ぐべき必要も無かるべしとの説委員間に行はれ爲に年内の委員會を見合せ來春緩々創立の手筈を爲すことと決したりと云
● 外人の株券所有權 株券を外人に所有せしめ以て外資輸入の一策と爲さんとの説出でしより經濟實業家間に於て議論湧出せしのみならず商法の解釋、上法社會の問題となれり現今法學者間に行はるる説は左の如し
第一説 株券を所有するは一の債權を有するに外ならざるを以て特別に之を禁止する規定なき以上は外國人と雖も之を所有する事を得然れども外

● 國人は現今居留地外に於て業務を取ること能はざるを以て株式會社の役員となる事を得ず又新設株式會社の發起人となる事を得ず
● 第二説 株券を所有するときは株主たる資格を有するものなるを以て單純なる債權を有する事を區別するを要す而して現今外國人は特別に附與せられたるもの、外債權義務を有せざるの原則と爲す故に假令明文なき場合と雖も往々法律は之を外國人に適用すべからざるものあり例へば工業所有權保護に關する法律は近頃外國との協商に依り外國人に國民的待遇を與ふる迄は外國人に適用すること能はざりしが如し商法も右同一の精神を有するものにして日本の治下に屬する者のみに適用せらるべき法律なり從て外國人は商法に依り權利義務を有すること能はざるものなり商法には外國人が株式會社の株主たるを禁ずる明文なしと雖も是れ工業所有權に關する法律に於けると同じく別に明文を要せずして當然外國人に適用すべからざるが故なり日本銀行條例等に右の明文あるは只之を明かにしたるに過ぎざるなり加之外國人に於て業務を取ることを得るときは彼等が現今居留地外に於て業務を取る能はざる結果總會に出席するを得ず又會社の役員となるを得ず一種異様の株主を見るに至るべし

● 海苔の大凶年 本年海苔の不作は維新以來未だ嘗て見ざる所にて實に四十九年目の厄年あるよし左れば斯業を專一とする在厚郡大森村、又兼業とする大井村等の漁民は一方ならぬ困難にて例年今頃はトント銀行へ押掛け貯金すべき時なるに本年は却て預金を引出し當坐を掃居るもの多しと斯る有様なれば來年一月用の海苔は大抵廣島、若くは仙臺産を以て間に合すべき見込なりと其道の人は語り右不作の原因は本年は粗朶を運る前に降雨多し鹹水と淡水の調和を欠きし事、西風少なくて海苔の發育に必要な波の動搖を欠きし事、大霧の爲めに粗朶の油苔をどうに溶されし事この三障害の一時に起りたる故なりと云
● ぬれがらすの勉強 彼の有名なる益田第一堂のぬれがらすは近來諸物價の非常に騰貴せしに拘らず依然として直上とせざるのみならず却つて品質を精製せし大勉強の結果にや過般來各地方の注文一時に嵩み止むを得ず入金順に因て出荷しつゝあれど斯くても多少出荷延引するは大に得意先の厚意に反るとして今度又職工を増加し夜業をも始めたる由尤も洋製の器械を据付て以來製造は充分に間に合へど何分職工の仕場方に於て手廻り兼場合もある由なれば兎に角同品販賣の人員は全く品切にならぬ内前以て御注文あることを要するべし

● 海苔の大凶年 本年海苔の不作は維新以來未だ嘗て見ざる所にて實に四十九年目の厄年あるよし左れば斯業を專一とする在厚郡大森村、又兼業とする大井村等の漁民は一方ならぬ困難にて例年今頃はトント銀行へ押掛け貯金すべき時なるに本年は却て預金を引出し當坐を掃居るもの多しと斯る有様なれば來年一月用の海苔は大抵廣島、若くは仙臺産を以て間に合すべき見込なりと其道の人は語り右不作の原因は本年は粗朶を運る前に降雨多し鹹水と淡水の調和を欠きし事、西風少なくて海苔の發育に必要な波の動搖を欠きし事、大霧の爲めに粗朶の油苔をどうに溶されし事この三障害の一時に起りたる故なりと云
● ぬれがらすの勉強 彼の有名なる益田第一堂のぬれがらすは近來諸物價の非常に騰貴せしに拘らず依然として直上とせざるのみならず却つて品質を精製せし大勉強の結果にや過般來各地方の注文一時に嵩み止むを得ず入金順に因て出荷しつゝあれど斯くても多少出荷延引するは大に得意先の厚意に反るとして今度又職工を増加し夜業をも始めたる由尤も洋製の器械を据付て以來製造は充分に間に合へど何分職工の仕場方に於て手廻り兼場合もある由なれば兎に角同品販賣の人員は全く品切にならぬ内前以て御注文あることを要するべし

郵便貯金即時拂法の改

郵便貯金即時拂法の改
は貯金の預け入をなしたる郵便局又ハ再度通帳の
交付を請たる郵便局へ直接に預け金の拂戻請求をな
し得るものにして至極便利の法なるも従来郵便局
替貯金管理所及び同支所々在地(東京市内、大阪市
内、亦同關市内)の各郵便局にては之を取扱はず且
其拂戻をなし得る最高額は拾圓にして預け金の内
一圓以上を預け置く制規の處今般選省令第三
十四號にて本月十六日より郵便替貯金管理所及
び同支所々在地の各郵便局にても之を取扱をな
し尙拂戻をなし得る最高額を二十圓に増加し又
殘し置くべき高を十錢以上に低減せられたるに依
り預け人は頗る便利を感ずるは勿論年末に際し殊
に拂戻の煩雜なる今日この改正ありたるは預け
人の爲め一層の便利ならん云々

海上保險會社の協議

海上保險會社の協議
者間の競争激烈に依り協力を進めしむる結果會社の
収入に少ざるの影響を及ぼし殆ど收支相償はば
る迄に至り外船船主及び貨物より得たる利益に
て理合はせを爲し漸く今日迄支持したるが此程本
邦に設立する、四個の保險會社が協同盟するの
運びに至り又昔日の如く不利益なる競争をなすの
必要なきに至りたる爲め過般各海上保險會社の重
役は帝國海上保險會社樓上に會し打合を爲した
る未保險率を漸次引上ぐることに決定し詳細なる
事項を取調べたる上來月中旬頃大阪に於て審議す
る等なりと

神戸市本年下半期の商業界

神戸市本年下半期の商業界
本年下半期に於
ける神戸市商業界の大體に就て聞か所を記さん
七月以降は米價著しく騰貴し白米の小賣相場も
今一坪十七錢以上の高直を示し之と同時に諸物
價亦た漸次騰貴して中以下人民の購買力を衰きた
る爲め一般商業は甚だし不景氣に陥り既に去月
一口より同市四十餘の呉服店に於て賣出したる冬
物類は其の總計上げ高は僅かに昨年の六分位に過
ぎず云々(又同港輸出の重要品たる燐寸の如き
も上海爲替相場の上昇より一時非常の不振を

來し之が爲め其の製造業者は休業の己むを得ざる

來し之が爲め其の製造業者は休業の己むを得ざる
悲境を呈したり云々
云々に日本銀行の金利引上げに先ちて三菱會社が
日本郵船株四千、九州鐵道株一萬七千三百、同
新株四千六百六十、山陽鐵道株一萬四千四百八
十合計三萬三千八百七十株を賣却し其後間もなく
日本銀行の金利二厘方を引上げたるより一般株式
市場に下路の傾向を生じ其の影響は自然同地の金
融界にも及びして市中の金利追々騰貴し殊に未
の折柄なれば株式市場は益々不振の域に沈み居る
もの、如し次に本年の製茶貿易は昨年比し稍好
況を呈したり又市中の金利は去る七月は二錢八
九厘を昇降し八月九月は最高三錢五厘最低二錢八
厘となり十月は金融界漸く繁華の兆を顯はし十一
月に至りては各銀行其年末を氣遣ひ殊に北越地方
(北越地方)を荷爲替にて貸出したるは北國米の
北越地方に回送する能はずして兵庫港より積々
廻米したるため同月中旬以後は貸出資本の欠乏を
告げ一時貸出を停止するに至りたるも本月に
入りては金融少し緩和し且つ各銀行も年末
に對する準備整ひ居れば左まで金融の不振消を許
へずして新年を迎ふることならんが本年内地の不
作を見込み外國に注文したる外米頗る多きを以
て今後等々の積々入津する曉には金融界亦大に
忙はしむ事ならん云々

鐵道貨物停滯に就ての陳情

鐵道貨物停滯に就ての陳情
橫濱商業會議所の決議により同會頭より此種總
理、大藏、逓信、農商務の四大臣に宛書出たる
陳情書の要旨は左の如し
第一(貨物停滯の現状及び實例) 橫濱停車場構
内に於ける貨物の累々として堆積せる數量は凡二
千噸乃至三千噸の量に上り而して此等の貨物は
概ね外國輸入品にして殊に洋綿、洋絲、織物、鐵
物、器械、肥料、麻、南米米、砂糖、石油、雜貨
等の如き目下内地の需要日に急なるに際し貨車欠
乏の爲め之を配送するに能はず鐵道構内に數日滯
滯するは常にして甚しきは數日若くは數週日を空
しく構内に山積して或は荷造りを損傷し或は由明
しとなり又は泥土にて被せらるる慘狀を極めつ
あり鐵道停車場の光景夫れ如此なるを以て内外商

豫告

豫告
來一月初刊の當紙上には骨皮道人先生の著作に係る最も面白き小説的の廣告を掲載致候得ば何卒御失念なく御直覽
神戸下度此段御吹聴申上置候

廣 告

廣 告
會覽博念紀年五廿設創
領受牌銅賞功有
本甲臺時繪彫刻揃物櫛笄
惣張臺黑唐代生地繪金地
高評漣彫揃物櫛笄簪中差
推朱彫揃物櫛笄簪兩天一貫
新形朱推朱政子・政子鬘
各種・柳鬘系政子形釵形
上等玉入簪向差長房付簪
(善) 小間物問屋 丸見屋善兵衛
東京市日本橋區橋町四丁目
電話花四四十八番

花王石鹼
花王石鹼の品質最良
も神良にして特に皮膚
膚の美艶をまし且衛生
上天に特効あるハ長くも
宮内省陸海軍
帝國醫科大學
其他各病院の御用を命せら
れ或は博士大家の實驗證明を興へ
られ給へ内外需用諸君の高評を博し
たるを以て推知せられんと希ふ
●賣捌所ハ全國至る處にあり
近來粗製品に類似の詐裁を附し販賣する者有之に付本品の
正圖即鐵商標及良潤富郎名義に御注意の上御求取下度候
東京橋町四丁目 丸見屋善兵衛

丸見屋善兵衛

○新年の禮服

本年も色々押巻り各異服店とも新年の禮服及び...

洋服

女子の洋服は實に寂々々々、一度調整せしものさ...

燕尾服 燕尾服は無事羅紗の三つ揃ひ黒佛蘭西...

ポットの先は細さの流行す此代價三十五圓前後...

オパールコート 以上の諸服に適當なるオパール...

男子用 四十歳位の禮服は羽織を黒五ツ紋の小...

和服 男子用 四十歳位の禮服は羽織を黒五ツ紋の小...

羽二重に墨繪富士に登り龍の模様、裏は白絹を用...

寫したる者半襟は着物崩れの袖口と同様に下...

令團向 三十歳位、禮服は、上衣濃縮縮黒の五...

高田繁吉の純子梅結びの黒太打の結紐此代價合計...

令團向 十七八歳位の禮服は濃縮縮二枚重ねの...

計二百五十圓以下百八十圓位迄なり序に記す...

織物にて最、賣行宜しき男物は諸織、縹、...

名織等壹反の代價十圓より二十圓位にして之に次...

生羽織の高向なるは紋御召壹反十六七圓位にして...

丸善商店發賣品廣告 婦人小間物 御櫛笄簪類各種

新形花簪根掛手柄類 雲井織 改良鹿の子

改良蠟引紙壽賀 諸化粧品類特約發賣

花の君御白粉 花の君石鹼

池野屋煙草店 池野屋煙草店

池野屋煙草店 池野屋煙草店

池野屋煙草店 池野屋煙草店

池野屋煙草店 池野屋煙草店

丸善商店發賣品廣告 丸見善兵衛

丸見善兵衛 丸見善兵衛

丸見善兵衛 丸見善兵衛

丸見善兵衛 丸見善兵衛

丸見善兵衛 丸見善兵衛

丸見善兵衛 丸見善兵衛

丸見善兵衛 丸見善兵衛

丸見善兵衛 丸見善兵衛

正不品造製故從業實誠信ヲ宿頭直正神

東京髮形商會ハ損ヲ招ク競争ヲナサズ故ニ如何ナル競争者出ルモ頓着セズ

禮 御 暮 歲

弊店ハ本年晚春ノ開店同業中尤モ幼舗ナ
 荷延滞此實澤山ナルニモ拘ラズ奥羽ノ邊
 中國ノ樞西海ノ濱ニ至ルマテ夙ニ名聲ヲ
 博シ需用日ニ増加シ販路月ニ擴張致候新
 聞ニ雜誌ニ敢テ誇大ノ廣告ヲナサザルモ
 期年ナラズシテ斯ク長足ノ發達ヲ致シ候
 ハ一ニ問屋萃客ノ御愛顧厚キ所以ト深ク
 感謝仕リ候今ヤ歲末餘日モ御座ナク候得
 共銳意熱心新年ヲ迎フルト共ニ益々奮勵
 以テ平素ノ御愛顧ニ報ヒ度ト奉存候希ク
 ハ一層御引立ノ程偏ニ奉願候先ハ歲末ノ
 御禮旁右申上候謹言

成功ノ秘訣ハ志ヲ堅クスルニアルヲ信ス故ニ勉強ヲ專一トス

弊店ノ特色ハ

- ◎發賣品ハ自家製造ノ外他ヨリ買入ヲナサズ
- ◎弊店ハ會社組織ニシテ職工ハ株主ナリ故ニ充分ノ責任ヲ負ヒ決シテ不正ノ品ヲ造ラズ
- ◎決シテ格外ニ安くモ賣フズ又高クモ賣フズ細ク永ク相當ノ利益ヲ得テ満足ス
- ◎決シテ押賣ガまじく送外荷ヲナサズ
- ◎御容赦ヲ願ヒ度ハ
- ◎弊店ハ責任ヲ負ヒタル限り有ル職工ヲ以テ限リナキ御注文ニ應スル事故多少出荷ノ延滞ヲ免レサルコト作併續々職工ヲ養成中故ニ出荷ノ延滞ハ暫時ノ間
- ◎荷造ノ都合ニ依リ多少注文品外ノ加入アルコト
- ◎御注意ヲ仰キ度ハ
- ◎近來弊店トまじらわしき屋號又ハ商標ヲ用フル狡猾アルコト



東京髻形商會

東京市淺草區磯前片町十番地

再拜

リナ藏盡無本資故ス信タルナ本資ノ大最ハ力勞

第四回内閣協業博覽會後賞券
廿五年紀念博覽會一等賞券
廿五年紀念博覽會一等賞券



袋入 小箱銀
大箱銀
金拾銀
金五銀
金三銀
金二銀
金一銀

今回弊店にて貴功齒磨グイヤモンド買
易品なるものを新製仕り品質香氣の一
層純良に致し且裝飾は専ら歐風を用ひ
文字も日本文字を用ひず歐文のみを付
き何卒普通品同様澤山御注文相願候也

貴功グイヤモンド
煉(白色製)大形磨子器入 金拾五銀
煉(桃色製)中形磨子器入 金十銀
煉(桃色製)小形磨子器入 金八銀
煉(桃色製)五形磨子器入 金五銀

兩品共御引之儀ハ從來之品ト同様ニ付
左様御承知被下度候
賣藥化問屋 東京市馬喰町一丁目
御用達 岳陽堂 電話花六五番

市内特約販賣店(八軒)
近江屋源七
柏屋善造
龜屋忠兵衛
武井龍三
田中花王堂
都築辨吉
村田藤三
山田篤三
丸見屋善兵衛
佐々木立兵衛
三河屋善兵衛
三河屋善兵衛

普通世間販賣セラルル髮附又ハ梳油凡ハ植物性油
ナリテ練製セラレタルモノナルガ故ニ暑氣ニ逢フハ惡臭ヲ發シ
寒冷ニ遭フハ凝固スルノミナラズ使用上ノ不便不抄而シテ
テ礦物性油ヲ以テ練製スルニキハ此等ノ患ナキノミナラズ使用
上衛生上ニ至大ノ利益益アルヲ以テ弊店曩キニ礦物性油
ヲ以テ之ガハ菊ト稱スル髮附油宮内香ト稱スル梳油
ヲ練製販賣シタル處右礦物性油髮附等ニ使用スルハ
大阪市西區中目九十七番屋敷礦油商
近藤清次郎氏カ特許有セラルル事ヲ發見シタリ是實ニ
弊店ノ疎漏ノ結果商業界ニ於テ最モ尊重スヘキ專賣權
ヲ侵害スルニ至リタルモノニシテ萬謝尙キ其罪ヲ購フニ足
雖モ聊カ茲ニ廣告シ近藤清次郎氏ニ謝罪併シテ右礦
物性油製ハ髮附梳油ハ化粧料トシテ有要ノ物品タルコト
ナ江湖ニ紹介ス

全國華主諸君へ警告ス
拜啓毎々御眷顧ヲ蒙リ奉拜謝候陳今回京都ニ於
テ特許侵害者ヲ生シ(弊方)承諾ヲ經テ礦物油ヲ香蠟
ニ使用セラレタル爲ニ無據告訴仕候弊店ノ最モ悲處
ニ有之候得共自他ノ利益保護スル必要ヨリ不得止
處置仕候自今弊店ニ於テモ一層注意ヲ加ヘ再ヒ如斯
凶報ヲ御清聴ニ達スル義ハ致間敷覺悟ニ御座候得共
華主諸君於テハ一層御注意被成下弊店ヲ何卒
商人ノ本分ヲ失セシメサル様御眷愛ノ程奉希望候
右再應御警告申上候也

木村玄三郎

右ハテント油(びん)附梳油原料御購入ノ條件
特許香蠟製造ノ關シ契約書并ニ建直表御通知
次第御送附可申上候

特約代理店
京都市五條高倉西へ入
宮山市舟橋今町
盛岡市新盛町
岡山市下ノ町
久留米市通町七丁目
福井市九十九町
山形市六日町
德島市佐古二丁目
山形市五日町
加賀國大聖寺銀治町
青森市米町
岡山市中ノ町
同 高砂町
兵庫宮前町
廣島市堀川町
和歌山市米屋町
酒田米屋町
豐後大分町
熊本野山町
秋田川口新町
金澤布片町
堺市大寺南門東入
名古屋市針屋町
越中高岡袋町
豐前國長洲町
博多市瓦町
赤間關市西之端町
新嘉市本町通十番町
富山市愛宕町
鹿兒島市吳服町
仙臺市南鍛冶町
土崎港下酒田町
長崎市築町鐵橋筋
高松市田町
高知市堺町
廣島國多度津

西川商店
稻垣商店
池野商店
岩崎商店
和田商店
片山商店
工原商店
米原商店
早野商店
吉野商店
七野商店
中野商店
大和商店
熊谷商店
熊谷商店
柳田商店
前田商店
是永商店
小川商店
佐藤商店
木倉商店
三好商店
宮田商店
宮田商店
宮田商店
進藤商店
芝廣商店
末廣商店
飯田商店
大間知商店
永田商店
熊谷商店
物產委託會社
小倉商店
長谷川商店
目代商店
鹽田商店